

広報紙KOB E特別号による市民意見募集結果について

1 特別号の概要

- (1) 発行部数 70万部
- (2) 配布先 市内全戸配布、区役所・出張所など各窓口
- (3) 配布開始 平成21年8月17日(月)
- (4) 意見募集期限 平成21年9月25日(金)
- (5) 意見募集の方法 特別号に付属のはがき、Eメール、FAX

2 意見募集結果

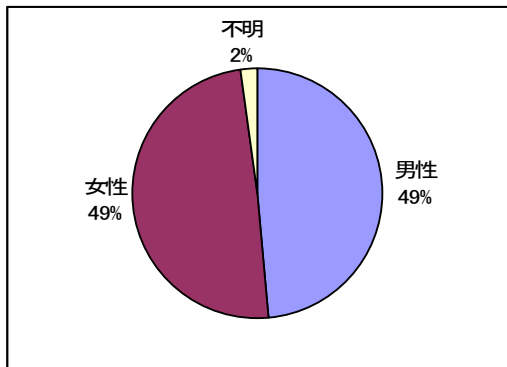
募集期間内に寄せられた意見総数 2,252通
(8月17日～9月28日到着分)

3 「基本的な考え方」について『共感できる』 (複数回答)

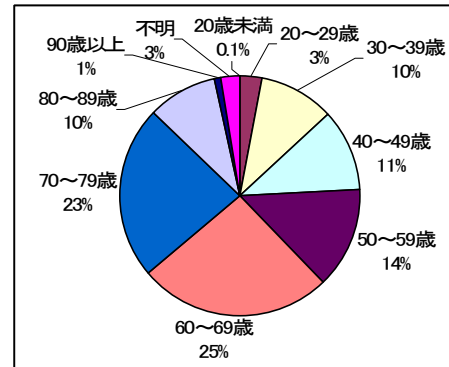
	票数(票)	比率(%)
1. 市民一人ひとりが能力を発揮し支えあうまちづくり	1,252	55.6
2. 人と人とのつながりをいかした地域主体のまちづくり	1,266	56.2
3. 新たな価値を創造し世界へ発信するまちづくり	1,066	47.3
4. これからの神戸を支えるしくみづくり	1,099	48.8
5. 活力ある安全で快適なまちづくり	1,172	52.0
全体	2,252	100.0

4 回答者の属性

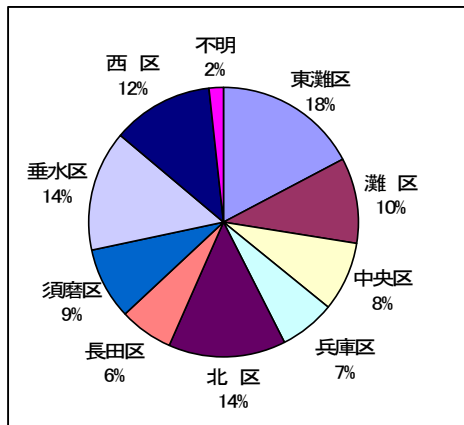
〈性別〉



〈年齢〉



〈居住区〉



市民意見募集結果のまとめ（主な意見）

「全体の内容」に関する主な意見	．．．．．	P. 1 ～ 8
「都市空間部会」に関する主な意見	．．．．．	P. 9 ～ 34
「市民生活部会」に関する主な意見	．．．．．	P. 35 ～ 64
「活力・魅力部会」に関する主な意見	．．．．．	P. 65 ～ 86
「共通項目」に関する主な意見	．．．．．	P. 87 ～ 108

「全体の内容」に関する主な意見

<190件>

1 理念

－「人と人のつながり」は全てに共通する重要な要素

- * 「人と人のつながり」は（２）だけでなく、（１）～（５）全てに共通する重要な要素だと思いました。
- * 生活をよりよくすることは大切ですが、まずは基本となる土台を作ることが一番です。私は、人間は「つながり」が土台だと考えているので、非常に共感できました。
- * 人をだましたり、うそを言ったり、うそで社会をつくらず、人と人が助けあえば安心して生活できる環境ができると思っています。

－くらしの「不安」の払拭

- * 何より優先すべきは、将来のくらしに対する「不安」を払拭することです。
- * 不安のない快適な暮らしを続けられることが一番です。そして、未来を信じられる行政をお願いします。
- * 人と人とのつながりはとても大切だと思っていますが、自分自身の暮らしが不安定だと他人まで大切に思う余裕は持てません。まず市民１人１人が安心できる、地に足がついた生活を送れることが最優先の目標として取り組んで頂きたいと思っています。
- * 希望に満ちた暮らしを取り戻すことができなければ活力が生まれず、発展は望めない。

－「家庭・心の安定」「伝統・心の文化」からまちづくりを

- * 企業も社会の単位「うちの会社」。子供たちも家族ぐるみで父の働く企業と一体となっていた。終身雇用・年功序列を大切にしたい社会づくり。家庭の安定、心の安定からまちづくりを。若者が育つ地域、住民の連帯感、ふるさとづくりも重要である。政教云々以前の伝統・心の文化等からのまちづくりを。
- * 地域はもちろんだが、家族についてもつながりを強くするように進めることが市民の幸せにつながる。家族を分断するような政策には断固反対。子供達の健全な成長のためにも（非行の防止など）必要。

－「モラルやマナー」、「人間として大切なこと」を学ぶことの重要性

- * 私の近所には草だらけで子供の遊ぶ姿を見たことの無い公園があるし、ゴミの分別も好きな袋に入れているところもある。個人のモラルだが、子供たちにモラルやマナー、人間として大切なことを教育し、大人と共に学べるようにして下さい。人が正しく生活し、働き、健康に心がけることのできる環境づくりをめざしてほしい。

－若い人は「自分の将来」のことを真剣に考えて行動すべき

* 少子・超高齢社会が進み、各個人の生活の格差が発生することは以前から予想され、我々の年代では日頃から何が起きて困らない程度のこととはしておりますが、今の若い人は自分の将来のことをもう少し真剣に考えて行動すべきだと思います。

－だれもが「人間らしく」生きていくことができるまちづくり

* 基本として、誰もが人間らしく生きていくことのできる街づくりが必要だと思います。市民の目に見える政策を実行して頂きたい。一部の人たちだけへの奉仕はやめて下さい。

* どれも、理想的な考え方だと思います。何事も根底に「人間らしい心」があれば構築していけるでしょう。この大転換期をひとりひとりが心したいと思います。

* 一人ひとりが「生きている」という実感のつかめるように政策や施設の充実を図ってほしい。

－長期的な視野での取り組み

* 以前は大阪・京都に住んでいたもので、それらと神戸の地域性を比較すると、神戸は京都などに比べて、都市開発が非常に下手なイメージがあります。その要因として、長期的な視野で“こんな街にしたい”とイメージができていないことがあげられます。短期の、後先を考えない、派手な施設ばかりが目立ち、それでは住民も、また非協力的な心が育ちます。

－「平和を大切に」が第一

* 「平和を大切に」を基本にする姿勢がすべてに優先することが抜けている。

－「自助自立」の心を養うことが重要

* 長寿というのは、ポスト生殖期の長短に外ならない。このことを念頭にして、すべての人（老若男女）が自助自立の心を常に養う。すべてはここからはじまる。自分を知らなすぎる。助け求めすぎない。グローバル化の中で、自分で生きる知恵の工夫努力を求める。

* 人に支えられて生きていくのではなく、市民一人ひとりが忍耐力を養い、自立した生活ができるよう、人に迷惑をかけないように、市は支援していくような方向にもっていく方がより大切なのではないかと私は思うが…。

－「神戸にしかない」強みをいかしたまちづくり

* これからは地域間競争の時代になります。神戸にしかない強みを生かさねば生き残れません。神戸は外国人が作った町です。この路線は変えず、絶えず外国力を取り入れることが必要。普通の日本的な街なら日本中に捨てるほどあります。歴史ある町に勝てません。

* 山・海と開放的で穏やかな環境に恵まれた地域性の中で神戸は発展してきました。これを生かした市民性を更に養えたらと思います。

* 活力ある神戸をつくるためには、神戸の特徴を生かす行政経営が重要。

－「ユニバーサル社会」の実現

- *ユニバーサル社会の実現をめざすべきと思います。格差是正。年寄が安心してらせる社会（お金、住まい、生きがい）。
- *ユニバーサルデザインを推進し、市民に親しまれ安全で利用しやすいまちづくりをしてもらいたい。
- *兄は足が不自由なため、この前の衆議員選挙の投票に行けなかったと聞きました。そのような人がたくさんいると思われます。1人1人が権利を果たせるしくみが必要です。病人も老人も主婦もすべて。

－「コンパクトシティ」の考え方

- *5については、コンパクトシティの考えを取り入れて推進して下さい。少子高齢化社会のランニングコストを考えるとイヤでもコンパクトシティの考えを！！
- *神戸のいいところは「コンパクトシティ」。安全で気持ちのいい道路、安い交通手段が確立できれば、たいていのことは解決するはず。

－抽象的すぎてわかりにくい

- *いずれも抽象的すぎる。「神戸市」のための取組みばかり。「神戸市民」のための取組みをして欲しい。発想の転換が必要。でなければ、地方分権は成り立ちません。市民が感動する様な企画をしてください。
- *どの指針も、神戸市をとりまく情勢の変化どう対処していくのか、全くイメージすることができません。指針とは抽象的なものではありませんが、あまりにも漠然としています。

－過去の反省に立つ

- *このような施策を考えるに当っては、過去の市政がどのようであったか、その反省の上にたって考えねばならないと思う。何か、美辞麗句のみが1人歩きしている感が否めない。
- *次期基本計画は、いつも策定されているが、前期計画の結果についての報告、できなかった反省等の公表がなされていない。

2 テーマ

－子供・孫の代まで「住みやすい」まちづくり

- *子供が生まれてから特に考えるようになったこと。「自分が生きている間さえいい境遇、何とかなっていればいい」ではなくて、ずっと未来も子供や孫の世代も住みやすく、いい神戸であってほしいと思うようになりました。
- *すべて共感できるすばらしい発想です。これからの神戸、子供・孫の代まで安心・安全なまちづくりをお願い致します。

－まずは「地域主体」のまちづくりが重要

- *各地域が魅力を発揮すれば自然と世界から注目される。また、地域主体でなければ本物の安全・安心なまちづくりはできない。いろいろ要望があるだろうけれども、まずしなければならないのは地域主体のまちづくり。
(反対意見)
- *コミュニティが崩壊（特に神戸の都心部）しているところに“地域主体のまちづくり”を進めようとしても難しい。また、地域主体のまちづくりといっても、特定の人に負担がかかり、若い世代になるほど不公平感は強い。別のまちづくりの方法も模索するべき。

－「教育」と「福祉」に焦点をあてたまちづくり

- *子供と年寄りを大切に。教育と福祉にしっかり焦点を当てた計画を。
- *長い目で見て福祉・医療が一番の心配事になると思います。
- *いろいろな予算がいるようですが、できたら神戸市では「福祉」を重視して、私たちだけでなく、お年寄りの方も希望をもって生きられる都市をめざしてください。
- *福祉・医療サービスの充実が急務。具体的な政策を打ち出し、市民に問いかけを！行政サービスの充実なくして、市の発展なし！
(反対意見)
- *福祉や医療がどうして増えているのか、根本的な原因を追求していかない限り、ますます生活すべてを福祉に頼る人が増え続けると思います。多くの市民は働き税金を自動的に納めているのですから。神戸市は福祉が充実しすぎていると他市の方から聞きます。

－「若い世代」に焦点をあてたまちづくり

- *子供が少ないし、若い人達の出会いの場所を作って安心して子育てができるような神戸になってほしい。老人も人のために何かできるといいと思います。
- *限られた財政の中、集中と選択をすすめる上で、若い世代を集中的に支援する政策を実行することで全世代への波及があると思います。
- *若い世代の人達を育てて、新しい「知恵」と「力」とを育てて魅力ある社会を創造して欲しい。

－神戸らしい「新しい発想」を

*ユニバーサル、少子・高齢、地球環境といった視点から単純に導かれる全体の声を行政の長期方針とするのは無策であろう。東京、大阪、京都とは違い、神戸とは自由な雰囲気、新しい発想であろう。海洋、エネルギー、防衛、理論（スパコン）でどう取り組むか、この新しい構造の中でくらしやまちづくりを孝えてほしい。

*沖縄県は長寿で高齢就労者の多い地方として知られています。一方、長野県は冬の間は運動不足で、漬物や味噌汁を好み、おやつは甘納豆といった習慣があり、平均寿命が短い県でした。しかし、10数年前、あるリーダーの提唱で生活改善（体育館を増やすなど）に取り組み、今や男性が日本一、女性が4位という実績－見習う点があります。特に、「まちの活力について」への行政と市民が一体となって取り組むことはないか。神戸市あげて何かいい取り組みを！

－まちづくりの方向の「選択」を

*地味で無個性だけど住みよいまちづくりを中心にするのか、独自の魅力で国内外から人を呼び、消費を活性化させ、雇用拡大を中心とするのか。住む人のための神戸をめざすのか、お金を落としてもらう神戸をめざすのか、大きなビジョンを描いてほしい。

*他府県からの観光客や華やかさばかり良くしようとせず、内部（市場の衰退、駐輪場、商店街のロータリー上の意味の無い公園や歩道の悪さ e t c）をきちんと！！

3 実施に向けて

—行政のたゆみない「実行力」と「市民力」の発揮

- * 要は如何に着実に実施実行するかが問題で、常に問題意識をもって持続実行力である。行政のたゆみない「実行力」を発揮して欲しい。空念佛に終られたくないためにも市長タノムでえ！
- * 具体論になりますと総論賛成、各論反対となり、抵抗勢力が頭をもたげます。それらをはねかえす政治のリーダーシップと支える市民力の育成のための啓蒙が必要です。市民一人一人の視野や拡げる教育・活動がもっと重要です。
- * 元気な高齢者たちが各部門でボランティアをしている。この「市民力」にふさわしい「行政力」を望む。
- * 立派なことを書き、言うことは誰にでもできます。実行に移してください。

—具体的な対応・施策展開による「信頼できる」神戸市行政を

- * 定年退職後も70才くらいまでは働ける場所や健康と生活のハリが得られる場所、1人暮らしの不安をカバーしてくれる場所の提供などは地域に求めてできるものではありません。一人で孤独に耐えて寂しさと戦い、病気への不安、病気をした時に頼れる人、このようなことに具体的に行政として対応していただき、信頼できる神戸市行政を切に希望致します。
- * きれいな言葉ばかりならべて私には全然分かりません。もっと具体的に身近な事を言ってほしい！

—「行政主導」でさまざまな環境等を整備

- * 少子・高齢化の問題は「支えあう」前に行政主導でさまざまな環境（育てやすい・守りやすい）等を整えることが先決・重要だと思う。医療・相談窓口など最低限のことも貧困な現状では「支えあう」のはもちろん「支える」ことも困難なのではないだろうか。
- * 地域主体でのまちづくりには限界がある。もっと行政が本気でやるべき（立前だけではだめ）。子供の教育、親を大切にすること、家庭を大切にすることなど、日本人の基本を教えないとだめ。

—まずは「財源・予算」の確保を！

- * 何をするのにもして絶対必要なものは財源です。いくらいい案を出しても財源がなくては、何もできません。お金を作り出すことを考えなければなりません。
- * どの政策にもしっかりと財源がなければ、実現は不可能だと思えてなりません。市民の目に見える政策の実行をしていただきたい。
- * いずれのテーマも当り前のことですが、予算なくして執行はありません。問題点となる現状の予算の配分状況を明らかにし、どこを削り、どこに重点を置くのかの現状分析から始め、意見を求めるのはその情報を与えて聞かれるべきです。
- * いくら良い案でも資金無しでは実行不可能。まずは資金調達。地域住民による協働事業組合の設立や出資参加、技工能力参加、郷土愛の向上が必要。

ーあたたかみのある行政

*公共料金が高いように思いますが、経費の削減にもっともっと努めて欲しいと思っています。そしてあたたかみのある行政に努めてほしい。

ー市民へのPR

*積極的に市民にPRして実効ある行政を期待します。指針にもとづく推進を、又しっかりした若者をつくり、若者が推進できる社会にする。

*今回の広報のような取り組みはいいアイデアだと思う。役所が市民の目線で考えることに役立つ。年に1・2回行ってはどうか。

(支持できない)

*市民一人ひとりがいつ生活が崩壊するかと怯えて暮らしている中で、今こんなアンケートより生活支援が重要ではないのですか。このような税金の使い方を支持できません。

*あたり前レベルの質問を市民に問うなんて、役所の自己満足に過ぎない。

ーセーフティネットの整備

*このような生活ができるようにまず行政が行動で示してほしい。教育、失業、医療等各々に対するセーフティネットの整備がスタートラインだと思います。

「都市空間部会」に関する主な意見

〈329件〉

1 めざす都市空間を形成するための分野別の取り組み——〈294件〉

(1) 秩序ある土地利用の誘導

①まちのゾーン

—区のイメージ格差の解消

*灘区・東灘区と長田区・兵庫区のイメージ格差の解消など包括的な都市計画を望みます。

—ゆとりのある空間形成

*新長田駅南の再開発地域は高層住宅の林立で緑が少なくなったように感じます。これ以上、高層住宅を建設するのではなく、ゆったりとした市民が憩うことができる空間を配して下さい。現在、残る空地は緑の広場にしてはいかがでしょうか？

—街なかの生活利便施設の充実

*大型店舗化は考えどころ。遠くまで買いに行くには車がいる。元気な間はそれでいいかもしれないが、エコから言うと考えもの。歩いて用がたせる方がエコにつながる。
*今秋J R灘駅が改築されますが、周辺にはマーケットがないため15～20分かけて買物に行っており不便を感じています。買物施設を作っていただけませんか。

—六甲アイランドの活性化

*六甲アイランドの街は活力がなく、さびしい街になってきています。店は次々と閉店し、閑散としています。空港ができたポートアイランドのように六甲アイランドも復活させてほしい。スーパー・商業施設など新しいスポットをたくさん作って下さい。
*ポートアイランドがどんどん成長し、六甲アイランドはどんどん寂れていくのが悲しくてたまりません。都市計画を見直し、島外の人を集客できる企業が出店できるようになればいいのと思います。島内はどの店も閉まり、ゴーストタウンになりそうです。

—準工業地域の土地利用誘導

*準工業地域にも一般住民が快適に生活できる生活環境の確保と監視の目を。企業のモラル向上と理解を求む！

②田園のゾーン

—宅地開発の規制

*西区や北区の開発をもうやめてください。

③みどりのゾーン

一六甲山系の自然環境・緑の保全

- *自然をもっと大切に。特に、緑などの自然は今より増やすくらいにするべき。人の体にも良い影響を与えるし、人の気持ちにも安らかさを与え大切なものだと思います。
- *自然の環境を守ることは全ての運動においても基本。そして、自然災害に充分対応できるように市民も心がける。
- *緑の木は育つのに何年もかかります。緑多く山あり海ありの神戸を大切にしたいし、エコにもつよい神戸を望みます。
- *都市の中に恵まれた自然が同居するのは他府県ではあまりない。この貴重な財産を見直し、誇りに思うことがまず大切である。
- *海・山など自然に恵まれています。今の自然をどうぞこわさずに今のままにしてほしい。動植物のことも考えていただきたい。
- *海と山にはさまれた素晴らしいまちで生活するために、山を大切にしたい。
- *全般的に自然環境についての認識が甘いと思います。自然は観光資源としてだけではなく、住民社会の基盤として不可欠な要素です。
- *各地の大災害が続く中、神戸の町の恵まれた地形の山々の保水力の少なさを案じています。山々の保水が豊かであれば、恵まれた地形がどんなにか神戸市民に幸せをもたらせてくれることでしょう。恵まれた山々を大切にしてほしいです。

一山麓部の宅地開発の規制・緑の保全

- *子供たちの世代までこの美しい緑、山、海を残してほしいので、宅地開発など山、緑をこわすことに関して、何らかの規制を設けてほしい。子供たちが大人になって、その子供にもセミとりや川遊びをさせてやれるような地域にしてほしい。緑をつぶさないでほしい。
- *緑多い環境、素晴らしい海の本当の貴重な財産を無視した開発はもうやめてほしい。神戸、地域の住民が喜んで生活できる神戸にしていきたいです。
- *山の宅地化をくいとめ、緑の保全に努める。土石流等、自然災害防止にもつながると思う。自宅周辺でも大木が切られたり駐車場になり、どんどん緑が減少している。
- *神戸は他市と比べて市内の緑は多いと思いますが、今後、山を削って高層マンションを建てるのは緑を守る立場から許可しないでほしい。
- *温暖化が叫ばれる今、六甲山麓や森林、川の流れを壊してのマンションの建設はもう止めて下さい。空室ばかりで、幾十年もこの地を愛する住民にはたまらない事です。
- *東灘区では、現在も山の中腹まで宅地開発がされています。この大切な都市に残ってきた自然がいつともたやすく壊されてきたことが残念です。都会にある自然こそとても必要なものであり、人間本来の豊かな生活を回復する神戸であってほしいと願っています。
- *丸山の山を切りくずしているみたいですが、これ以上、山の緑をうばわないでほしい。

(2) 海・空・陸の総合的な交通環境の形成

①交流を促進し、人にやさしい交通環境の形成

A. 広域交通ネットワーク

【都市計画道路】

ー都市計画道路の早期整備

*快適で災害に強いまちづくりを目指すため、須磨区の南北道路の早期整備が必要である（西須磨3線、垂水妙法寺線、横尾妙法寺線）。

ー無駄な都市計画道路整備の中止

*無駄な都市計画道路の建設を直ちに中止して欲しい。このような財政難の時代に、目的不明の道路をつくる余裕はないはず。

【広域幹線道路】

ー湾岸道路の整備推進

*湾岸道路が六甲アイランドまでで中断したままになっており、更にポートアイランドから和田岬經由で山陽道へ早くつなげる様にするのが、東西方面から神戸へ流入する車輛のスムーズな動きを助長する効果があると考えます。

*湾岸道路が未完成ですので、今後、至急に作って欲しい。

ー国道2号の4車線化

*国道2号線の須磨～明石間の4車線化を早急に進めて欲しい。神戸に来て40年たつが、未だに昔のままである。

*垂水・西区は長年、国道2号の慢性渋滞等に悩んでいます。何故マリニピア等を増設するのですか？慢性渋滞を増長し、舞子から塩屋地域の住民は困っています。県外から車が高速道路等を利用して国道2号に進入し、土日はより一層の渋滞をきたしています。

【関空アクセス】

ー高速地下道路・鉄道の整備

*グローバル化に備え、思い切ったプランを具体化する。JR新神戸～神戸空港～関西空港間に高速地下道路 and 鉄道を建設する。

ーベイシャトルの無料化

*関西空港復権のため神戸空港との一体化。たとえば、神戸（国内）から関空（国際）への乗換はベイシャトルを無料にする（空港内移動手段との考え）。同じく、関空から出発する人、三宮からポートライナーで神戸空港につきベイシャトルは無料で利用できるようにする（神戸空港を3本目の滑走路の考え方で）。

ーベイシャトルの運行中止

- *海上アクセス、ベイシャトルの運行中止を提案します。関空・神戸空港ともに減便傾向が続き、将来的にも希望はもてません。代替便（バス）も充実しています。
- *神戸～関空への海上アクセスは採算が合わないので廃止してほしい！

B. 地域交通ネットワーク

ー歩道等の整備・バリアフリー化の推進

- *歩道のバリアフリー・歩車分離信号の設置などが遅れているように思う。
- *高齢者が増加するなか、長田区の新長田以外での歩道整備の遅れが目立つ。
- *ベビーカーを押している人や体の不自由な人には危険な（細くてガタガタの）歩道が多いので、歩道をもうすこし歩きやすくしてほしい。
- *西区では歩道のバリアフリー化が進んでいません。私も何度か車いすの転倒した方を助けております。体の不自由な方、老人等がこまらない地域環境にしていきたい。
- *歩道の整備を充実してほしい。坂道の歩道は表面がすり減ってガタガタ、ポコポコでつまずいて転びやすい。足腰の弱者には危険です。継ぎ接ぎだらけのところも多く、歩きにくい。もっと安心して歩けるように、快適な歩道にしていだけたらと切に願います。
- *人が安心して歩ける歩道が整備された道路が余りに少ない。欧米先進国では歩道のない道路はほとんどないが、日本では逆である。歩道を整備することにより、文化都市・神戸の建設がはじめて可能になる。
- *利用者の立場に立った安全な歩道にしてもらえませんか。歩道に植木は必要ですか。木を植え景観をよくするのもいいですが、ベビーカー、車椅子、自転車など、特に子供も自転車に乗ります。小さな子供も安全に利用できる歩道づくりを望みます。

ー有馬街道の早期の拡幅整備

- *有馬街道を人と車にやさしい広い道に早くしてほしい。
- *西神や北神に住宅地は作っても、有馬街道など50年前と同じ。高速ばかり優先し、生活道路は昔のまま。
- *有馬街道の整備又は代替の生活道路の整備を行わなければ災害時や緊急時のアクセスが不安である。
- *毎日、有馬街道が朝夕交通渋滞しており、勤務上非常に困っています。また高速ができていますが、高速から降りた車で見動きができず、整備して下さい。

ー鉄道駅のバリアフリー化の推進

- *障害者、高齢者のために摂津本山駅の改造をして下さい。小学生が踏切を渡るのも心配です。エレベーター、エスカレーターのないのは神戸・大阪間でただ一つです。
- *超高齢化が進む中でJRの駅の階段がとてつらく感じます。楽しく街に出かけたくとも駅の階段を思うとおっくうになりがちで、近くで済ませてしまいます。

一 鈴蘭台駅周辺の再整備の推進

- * 鈴蘭台の駅前の整備を早く進めて下さい。歩道の柵もなく、よく事故がおこらないと思います。Sカーブが多く真直ぐに整備してほしい。
- * 鈴蘭台の駅前は人・バス・車でごちゃごちゃしているし、歩道がないところもある。歩道があっても狭いなど暮らしにくいので、道路整備をしてほしい。
- * 高齢化社会を迎える今、元気で安全な暮らしのために、鈴蘭台駅のバリアフリー化、市バス利用者のためにアーケード、道路のバリアフリー化が急務だと思います。

一 塩屋周辺の道路整備の推進

- * 塩屋地区は、同じ神戸市でも道路等で老人が非常に歩きにくい。また、車道も狭くて危険な箇所が多々あり、目の届きにくい場所が何ヶ所かあります。同じ市道でも私道的なところがあり、早く改善されることを願っております。
- * 塩屋一带は、社会インフラや交通状況が非常に悪い陸の離れ島になっていて、行政の享受が少ない。

【バス路線】

一 新規路線の整備

- * 兵庫・長田区等に於けるコミュニティバスの検討。
- * 高齢化が急速に進み、傾斜地に住む住民が快適に生活するためにはバス路線の充実が急務です。特に、御影山手方面のバス路線の充実！
- * 山手幹線沿いのJR・阪急電車の駅の間際に自宅があります。車の運転ができる間はいいのですが、できなくなると駅までのバスの路線は1時間に1本。東西に走るバス路線があれば、地球環境にもお年寄りにも安心な神戸のまちづくりが可能になると思います。
- * 超高齢化が進む中で塩屋は昔のまま交通の便が悪く、住民はせめてJR塩屋駅までのバス及び区役所まで乗り替えなしで行けるバスができないものか？小型のマイクロバスでも良いと思いますが。
- * 谷上から岡場の間は市バスの交通がない。代替の神姫バスの停留所は人でいっぱい満員であり、対策を！！
- * 安全上、高齢者はできるだけ公共機関を利用して生活をしたらいいと思います。しかし私が住んでいる枝吉地区は神戸市交通局のバスは通っていません。神姫バスは175号線沿に通っていますが、神戸市交通局のバスを通して下さい。
- * 手続の複雑なものは西区役所まで行かなければならず、バスと地下鉄を乗り継がないといけないので費用と時間がとてもかかります。岩岡町からの直通バスを考えて下さい。
- * JR新神戸・神戸空港との市内アクセスをもう少し拡充することができないでしょうか。未だに新大阪・伊丹のアクセスに見劣りし、地元市民だけでなく観光アクセスも大阪に偏りがちです。税込、地元資源のフル活用のためにも市バス等のアクセスを拡大すべきです。

ーバス路線の復活

*市民が利用できやすいように考えていただきたいです。例えば市バス（6）番を復活させてはいかがでしょうか。大変助かります。

ーバスの運行回数の増便

*バスの運行回数を増やして下さい。谷上よりしあわせ村行、現在、1時間に1回です。せめても20分に1回ぐらいにして下さい。

ーバスの最終時刻の見直し

*市バスの最終時刻を遅く（例えばJRに合わせる）してほしい。そうすると大阪圏の人々が神戸により多く住むと思う。（特に山間部）

C. 都心域の交通環境

ー路面電車の導入

*エコの観点から路面電車を検討（新神戸駅～市役所～神戸港）するなどもいい（ガソリン車からの脱却）

*私は、神戸に東から西の端までを縦断する“軽量でモダンな市電”の復活を提案したいと考えています。市内観光の基幹線となり、今でも多すぎる自動車の量的な規制の役割をもつこととなり、低炭素化にも貢献できます。バス運行についても有効な編成の組み替えが必要になります。路面電車は、妊産婦や高齢者にも利用しやすい乗り物です。神戸の風物詩と成るようなスタイリングを考えてみては？

*今後、都市では低公害で人にやさしいLRT（新型路面電車）の整備・充実ということになるだろう。欧米で盛んに導入され、LRTが人と環境にやさしい都市交通機関として整備されている。世界でここまで見直されてきたLRTについて、神戸市でも早急に導入すべきである。

*観光の目玉として架線のいらぬ路面電車（川重にて研究中）をどこかメインの所を走らせては？山手幹線のバス廃止で沿線はすっかりかわって人の流れなくなった。

*車中心社会から、ヨーロッパが導入している路面電車などが走る、人にやさしい町にしてほしい。

ー都心部への自動車の乗り入れ規制

*交通機関の充実と乗用車の都心部乗入れの低減策の実施（谷上の駐車場と市バスの値下げ）

*中心部では自家用車などの自動車の規制を行えばよい。またノーマイカーデーを週に数回つくり、市内の公共交通機関（私鉄を含む）で割引運賃を適用すればいいのでは！

*都心部への車の乗り入れを規制すべし！

－自転車道の整備

- * 自転車道の整備。神戸はほとんど自転車道がない。あまりにも産業優先になっている。
- * 神大附属病院南に新しくできた自転車道を神戸全体（まず東西に1本貫き）に広げ、レンタサイクル（電動機つきで）も完備し、市民も観光客も神戸の町並みを楽しめ、環境問題にも同時に対応できるようにしていただきたい。
- * 自転車ですこへでも行けるように道を整備するようにすれば、公害もなく、CO₂も出さない。体力増強、レジャーにもなると思います。
- * 自転車用道路を整備してほしい。この道路で歩行者が事故に合っても、歩行者側の責任になるような条例も合わせて制定してほしい（同様に車道を無理に横断するような歩行者にも自己責任を）。子供は交通ルールを守るのに、年寄りには守らない人が多いと感じる。

－放置自転車の対策・駐輪場の整備

- * 防災の観点から、不法駐輪はいざという時に被害を助長する由々しき問題である。福祉面からも重大な問題となっており、早急な改善を図っていただきたい。特に土・日の駅前ひどい状況になっています。
- * 現地点であまりにも安全性に欠けている場所等について優先に考えて下さい。駅前や商店街の放置自転車の多さ、とても安全だとは思えません。
- * 歩道が狭く、自分が高齢になると足元に不安を感じるため、散歩を始めるにも、自転車との接触がある。買物に外出しても同じ状況。子供と歩いても気が気ではない。以前は“ジャマ”だと思っていたのですが、駐輪場を考え下さい。
- * 神戸の洗練された雰囲気が好きですが、駅前等に置かれている自転車汚らしく、悲しくなります。環境にもやさしく、便利な自転車をどこでも気軽に止められる無料駐輪場をあちらこちらに作ってほしい！その代わり、それ以外の駐輪は厳しくするのはいかがですか？美しく規則正しく並べられた自転車はきれいに見えます。
- * 駅周辺等に自転車の有料地下駐輪場を造ろう。放置自転車の問題はこれしか解決策はない。雇用対策としても有効。それでも放置するのはODAの現物譲渡だ。東京ではすでに始めているそうです。

②経済を活性化し、環境にやさしい交通環境の形成

【鉄道網】

一地下鉄西神・山手線の機能強化

- *地下鉄西神・山手線の利便性アップ。山陽板宿駅を介して神戸高速鉄道への接続、直接乗り入れ。
- *市営地下鉄はJRや私鉄と接続しておらず、乗り換えに手間がかかる。谷上駅のように乗り換えをスムーズにしてもらいたい。
- *交通の便が西神より先に地下鉄もなくこの為に神戸も開拓されず、さびれていく一方だと思えます。

一阪急電鉄と神戸市営地下鉄の相互直通運転

- *阪急電鉄と市営地下鉄の相互直通運転を進められたい。阪神なんば線の効果でもわかるように他都市（大阪、奈良から）の集客に寄与していることを考えると、神戸市に与える効果に期待できるものとする。

一神戸電鉄三田線の複線化と高速化の早期実現

- *北区の鉄道は大幅に整備が遅れ、それが生活を不便にして発展を阻害している。低速度で少本数なのに高運賃な神戸電鉄よりも、便利な車に流れるのはあたり前です。神戸電鉄に対して補助を実施し三田線の複線化と高速化の早期実現を望みます。それにより低炭素社会を実現しながらも高齢者も安全・快適に外出できるようになると思います。

一鉄道ルートの新設

- *鉄道他公共交通網は東西に細長い街神戸の東西にばかり通っている。折角の和田岬線を補強して南は神戸空港から北は兵庫県北部の日本海岸へ容易に交通できるようにしたらどうか。
- *阪神なんば線の開通で神戸ー奈良が直結し、活性化された。大阪府と連携して、姫路、神戸ー大阪ー和歌山を直結した鉄道ルートの新設。
- *垂水区下畑町のあたりに電車が走るようにしてほしい。

一地下鉄海岸線の東への延伸

- *地下鉄海岸線の延長工事を進めて下さい。HAT神戸～東灘区方面“海岸線”の特徴を活かして、震災都市であるこの地を活気あふれる街にしてほしい。

一山陽電鉄の地下化・高架化

- *離宮道を横切る新しい東西の道ができて、神明道路へ出るのに今までより時間がかかる。山陽電鉄の踏切が降りていると、離宮道の南北の信号が青でも前方が渋滞していて渡れない。その対策として、山陽電鉄を地下化あるいは高架にすれば良いと思う。

一特急停車駅の拡大

*阪急六甲駅に特急が停車するようになってほしい。多くの大学・私立中学・高校があり、多くの通勤、通学生がいる。

一ポータルライナー駅の安全確保

*ポートアイランドに行く学生の増加や神戸空港の利用者で、朝のポータルライナーの混雑、特に三宮駅ホームでは身の危険を感じるほど。早急に対策を考えていただきたい。

【鉄道料金】

一神戸電鉄・北神急行の運賃の値下げ

*人的交流・活性化を図るに神戸電鉄・北神急行運賃の減額を実施。夫婦二人で三宮まで片道2000円、高齢者2人の1ヶ月の米代に匹敵する。余りにも馬鹿げて現実味なし。

*北神急行・神戸電鉄が高すぎるので、大幅な値下げを実施してもらいたい。財源は老人パスの廃止か見直しです。老人パスは買物・娯楽に使われ、病院通いは少数です。老人パスの廃止は福祉の切り捨てだと声が上がりますが、決してそうではないので英断して下さい。

*北神地区から三宮に行くためには神鉄・北神・地下鉄と3つの交通を利用しなければならない。周りと比較して高い。三宮―新神戸間を50円にするとか、北神を買収して料金一本化してはどうか。便利になれば税収もふえる。

*北神急行は空気を運ぶくらいだったら思いきって値下げし、利用者増でカバーすべき。谷上駅前の一等地に神戸市所有の空地が散見される。仮に時間貸駐車場にすれば、年間700～1000万円は収入がある。この収益を北神急行支援に回しても良いのではないか。

*神戸電鉄の運賃の高さには驚きます。これでは有馬に行くより、京都・奈良方面に変更する人も多いようです。人の流れが止ってしまい、人が動かなければ活気も出ません。

*我家には中高生がいます。神鉄・北神急行の値段が非常に高く、家計は大変です。北神急行が安くなれば、車を利用している人も電車（エコになる）を利用すると思います。

*北神急行、神戸電鉄の運賃引下げを希望します。低炭素社会と高齢化には必須、外出が減れば個人のひきこもりや日常的な運動不足、文化活動の減少になります。

*北区の交通機関の遅れを指摘したい。同じ税負担をしているのに、高額な運賃と不便を強いられている。税は公平に使うべきだ。

一ポータルライナー、六甲ライナー、市営地下鉄などの運賃の値下げ

*全体的に交通費は高いと思います。観光客も少し足をのばすだけでお金がかさむので、再度きても結局、三宮中心部しか潤わない。もっと神戸市全体をアピールするべきだ。

*市営地下鉄の料金を下げてほしい。通学交通費もかなり負担である。

*六甲ライナー・ポータルライナー・地下鉄などの運賃を安くして、通勤・通学・観光手段として積極的な利用を促す。

(3) 水と緑を大切にした都市空間の形成

①まちのゾーン

ー海の水質改善・保全

*表面的には自然に恵まれていると見えるかも知れませんが、海はヘドロで魚の泳ぐ姿など見ることもできず、子供達に何を残していくのかを真剣に考える時だと思えます。

*琵琶湖は埋立が進んで小さくなり、この頃は汚い湖と変ってしまいました。きれいな神戸の海を残すため、できるだけ神戸港の埋立をやめてほしいと思えます。

ーまちの緑化の推進

*他市に比べるとはるかに緑が多いまちですが、昨今、野鳥や昆虫の数が減っているようです。自然との共生を目指すという観点からも、まだまだもっと緑は増やしてもいいと思えます。神戸らしい美しくデザインされた緑の空間を期待します。

*そろそろ成熟した町を望みます。(物が溢れるような生活でなく) 質の高い環境が人を育てると思えますので、まず緑をもっともっと増やしてください。

ー街路樹等の管理

*ハーバーランド周辺の緑化にもう少し配慮していただきたい。植栽等の手入れのいき届いていないところがある。シンガポールのウォーターフロントなどを参考にされては？

*街路樹の緑化を推進。木を大きく上に向けて育て、下枝を切断して、人と車が通る緑のトンネルを作る。

ー河川敷の管理

*この夏、近くの住吉川が荒れていました。回転灯をつける等、防災の意志は分りますが、砂と枯草で景観が悪くなっています。健康のため朝夕、多くの人がウォーキングやジョギングをする場所です。整備をよろしく。

【公園】

ー公園の適切な管理

*岡本公園は梅の季節だけ賑わい、その他の時期は管理も充分ではありません。山ではないのですから、低く木を切り明るい魅力ある公園にしていきたいと思えます。

*一部の公園を除いてメンテナンスが悪い。ボランティアに頼りすぎ。

*遊具より樹木のある自然ばかりの公園をお願いします。その管理にとってもお金もかかりますが、自然は生きていく力の源です。

*使用されない公園はいらない。公園の数を減らして、いき届いた管理を。

*最近、公園の草刈や低木の手入れ等ができていないところが多いと思えます。子供達の安全のためにも定期的にきれいにしていきたいと思えます。

一公園の再整備

- *会下山公園は歴史的に神戸の要所であり、この地形を活用したい。日常的に人が集って会話の弾む場として、一部に展望広場を整備する。高齢化が進み、孤立する現状をふまえて、散歩がてら遠望することにより、心の快方感・開放感を受けることができると思う。
- *垂水駅北側周辺の公園はさびれ、子供を遊ばせる場所もない。実家の西神に行くと広くてきれいな公園に防火水槽の工事までしており、同じ市内とは思えない。

一公園の拡充整備

- *岡本梅林公園の拡充で、岡本梅林公園から保久良山への梅の道を地域の力と協働で作り上げ、静かな地域環境を作り上げてほしい。

一新たな公園の整備

- *ハイドパークやセントラルパークレベルの都市型公園の整備。
- *市民が憩える“公園”が神戸は少ないと思います。子供も大人も、市民もゲストも気持ち良くすごせる神戸らしい公園（人の集まる場）の整備をお願いします。
- *東方面にも芝生のあるゆったりとした公園がほしいです。北区の「しあわせの村」のような施設があればいい。

②田園のゾーン

一里山づくりの推進

- *先日、大龍寺までの登山時に河川の整備の悪さに落胆しました。元気な老人社会のためにも里山の整備が急務だと思う。見てきれい、また行きたいとなるように。

③みどりのゾーン

一六甲山の活用

- *六甲山の寂れようには目を被うものがあります。八ヶ岳のように、花（野草）いっぱい、そして人いっぱいにならないものでしょうか？
- *まちづくりの基本は住みやすさであり、恵まれた自然を生かすことは重要で、六甲山の活用が重要。例として、車で行ってファミリーキャンプ等ができるなど。
- *面的には緑に覆われた六甲の緑は、質的な充実を図る時期に来ており、その施策を進めるためには守るばかりの現行条例には矛盾が生じている。生物多様性保全と景観デザインの向上を図る必要から、六甲山の緑を活用する視点が今後の最重要になるのではないか。

一利用マナーの徹底

- *先日、烏ヶ原水源地でバーベキュー後のごみだらけのところを見てしまいました。皆さんが楽しむ場所で、ひどいと思いました。火を使用すること禁じたらいかがですか。

(4) 「デザイン都市・神戸」にふさわしい魅力ある景観の形成

①地域特性を活かした神戸らしい景観の形成

ー地域にあわせた景観ルールづくりの推進

- *デザインすることに重きを置いたため、神戸の伝統的な顔を失い、まるで今の若い芸能人のように見分けのつかない美しくはあるが、技巧的で個性の埋没した都市の顔になっている気がします。独自の歴史を積み重ねて得た独特の味わいを取り戻してほしい。
- *北野のモスクに隣接してマンションが建っており、残念。あのよう小さくてシンメトリーなモスクは神戸にしかない貴重な財産であり、規制してまちの姿を守るという発想をもってほしい。観光客がモスクに大変感激していた。昔のモスクは恵まれた地形の特徴を生かした美しい景観をつくっていた。その姿を取り戻せば、新たな神戸の価値を創造することにつながる。
- *デザイン都市・神戸として、より世界の中で魅力ある町とするには、建築の高さを制限し、六甲山系の稜線が見えるようにするだけでなく、地域により色合い等も規制をすることにより、国際観光都市の顔としてもより一層の取り組みが必要と思われる。
- *歴史と景勝の町である須磨に無計画・無秩序な高層建築の建設が進んでいる。創造も新しいデザインは大切ですが、自然、景観、歴史保全の立場も重視してください。一旦破壊された景観、自然は元に戻りません。

②都心域をはじめとした海・まち・山を眺められる眺望景観の保全・育成

ー眺望景観の保全

- *少子化が進む中、都心に無秩序に乱立するタワーマンション！神戸の唯一の売り物、山や港の景観が日毎に犯されていくのを見るのがつらいです。
- *東京から帰って新神戸駅のホームから見る神戸の街並みや海にホっとするまちだったのが、目の前には50階のマンション、そして高いビルばかり。神戸は海・山がどこからでも見られるまちだったのが、花火も見られず、ビルやマンションだらけ。
- *建造物の高さは何らかの制限を設けることはできないのでしょうか。今後も高層住宅やビルが建ち並ぶこともありえるでしょうし、これまで路上から見えていた錨と市章の電飾が近い将来、高いビルに隠れてしまう街にはなってほしくないと思います。
- *高層ビルの林立に困惑しています。空が切り取られ、山や海が見えなくなった街には魅力がないと思います。今、電車から見える街並にはうんざりで、海から見た長田の町はおぞましい思いがしました。
- *最近、神戸の街に高層ビルがあちらこちらに建ち、海あり山ありの神戸の美しいまちを壊しているように思います。特に、離宮公園からの青い海はまさに神戸代表の名所なのに、高いマンションが眺めを台なしにしています。一度建ってしまえば元には戻せません。どうぞこれ以上高層は認めないでいただきたい。

一高層建築物の規制

- *最近市内に高層建築物が目立つようになりました。何か規制を加えないと、神戸市の景観が損なわれていくように思います。
- *最近の高層マンションの建設ラッシュは神戸の美しいまちの景観を著しく損ねている。早急に対応しなければ神戸のまちの魅力は低下することになると思う。ヒートアイランドなどの影響も出てくるのではないかな。
- *恵まれた自然を大切にするためにも高層ビルやマンション建設を規制するべき。新神戸など山の近くに高層マンションが建ってしまったら景観が台なし。条例を改正して規制しないと。その方が災害に強いまちづくりにつながると思いました。

一まちの景観・雰囲気にそぐわない建物の規制

- *須磨海岸は整備されて美しいですが、その景観をこわすのが高層マンションです。須磨の歴史や美しい眺めを大切に。奈良や京都のように高い建物がないというのは神戸らしくありませんが、せめて須磨の一部だけでもと思います。
- *「デザイン都市・神戸」と言いながら天下の名勝である須磨に超高層マンションを認可し、風景を壊している。市民として恥かしいかぎり。
- *海から山の一体感が誇りである神戸の街の景観が損なわれるような高層マンションは建築禁止にすべきと思う。

③景観形成を推進するためのしくみの充実

一神戸市全体のグランドデザイン

- *日本一美しいこの都市を今以上に国の内外にアピールする必要がある。都市の景観や自然を破壊する建物は厳しく排除するべき。部分的、断片的な街づくりではなく、神戸市全体のグランドデザインが必要である。

一太陽光発電によるライトアップ

- *太陽光発電などを生かした何か神戸のシンボリックな（伝統的だけど新しい）もの、それを見ると神戸に来たな、帰ってきたいとか思えるものがほしいです。新庁舎の建物とかのライトアップ！！とか。

一電線の地中化の推進

- *街のイメージアップが大切。全市街地にわたり電線地中化を徹底、「電柱のない街神戸」をアピール。「住みたい街」「行ってみたい街」として人気アップにつながる。
- *ある調査で「アジア人が最も住みやすい都市」に神戸は3位だったそうです。安定した都市と公園都市をめざし、この際、電柱を地中化し、歩道を広く緑の多い、そして自転車が走れる巾のあるゆったりとした空間づくりをしてほしい。

一看板の規制

- *街並みを壊さないような看板のデザイン規制があればいい。
- *神戸として恥ずかしいよう看板（広告）が多い。もっと厳しく許可すべき。
- *基本的には清潔な街、看板などデザインや色彩を統一
- *商店街や道路（歩道）を歩いてウインドーショッピングや買物をしていても、看板が溢れすぎ（空中も地上も）で、かえって何があるのかわからない。商店街などはまっすぐに歩けないほど。もっと何も無いスッキリとあかぬけした街並みにして統一してほしい。

一店舗の「屋外」に向けてのBGMや商業映像の規制

- *近頃、特によくないなと感じるのは、店舗の「屋外」に向けてのBGMや商業映像です。大阪市内でもたまにあるのですが、ただ騒々しいだけ。本来は店内に設けられるものなのに、人によっては聞きたくも見たくもないものを押し付けられているわけです。この類のものは県や市で規制できないのでしょうか。

(5) 快適な住環境の形成

①安全で安心な「ひとにやさしい住宅」の確保

－生命を守る住まいの安全性の確保

* 再びの地震の為の備え。生命だけは守れるように住宅の安全性を確保！

－高齢者の住宅改善への支援

* 高齢者の所有住宅の時代に即応したリニューアル（太陽光、省エネ、バリアフリー住宅の改良）費の融資（地域）制度の確立→モゲージ。資産があっても、現金がない高齢者の住宅改善に対して、行政が援助する体制の整備。

②低炭素社会に対応した「環境にやさしい住宅」の確保

－住宅への太陽光発電装置の推進

* 国際都市神戸の魅力を今一度とり戻して欲しい。クリーン・エネルギーの都市として太陽光発電装置の一般家庭への設置を推進するのが近道と思われる。

* 温暖化をおさえるため、太陽光発電を増やす補助金をお願いします。10年前より取付を考えてきましたが、費用が高く、あきらめてきました。多少の補助は存じていますが、車のETCのように「よしつけよう」と思わせる額をこの1. 2年、予算化していただきたいです。

* 太陽光発電を大いに利用したい。家屋の屋根に。瓦自体が壁そのものが太陽電池だと良いと思います。

－太陽光パネルの改善

* 太陽光発電はエコの点からも今後増加傾向と思われるが、太陽光発電パネルの反射がとてもまぶしい。特に、マンション住居では新しい公害問題となるのでは、改善が求められる。

－全戸エコ住宅の推進

* エコがみんなをまとめる。一人だけでは一人よがりにならない。全戸ソーラー、全戸家庭生ゴミコンポスト、全戸雨水だめ貯水槽に行政力の発揮を！（助成や補助より減税がいいのではないかと思います）

③大切にすまう・ともにすまう意識の向上

④すまい手のニーズにあったしくみの整備

－高齢者向け住宅の供給

- *ケアハウスや高齢者向けの住宅（低家賃）を増やしてください。
- *元気で1人住まいをして思うことが、介護付ホームはたくさんできますが、元気な人にシルバー向けの1人住まいや夫婦住まいの小さくて快適な年金で住めるような住宅を作ってほしい！いつまでも元気で暮せるために。

－シェアハウス等の推進

- *独身で1人暮らしです。同じような境遇の人たちのための住宅があればと思います（シェアハウスみたいな）。老人ホームに入るまでは安心して暮せるところがほしいです。
- *今は元気で生活していますが、いずれ病院、介護施設でお世話になると思います。それまでは小グループのみんなで支えあえる住まいがほしいです。（年金で生活できる）

－中心部の住宅の高層化による子育て世代の入居

- *市街の中心部の住宅は高層化をはかり、子育て世代の入居を積極的にすすめ、生活コストの低減に資する。もし、高額の家賃になる場合は補助制度などを活用する。

－多世代居住住宅の供給

- *少子・超高齢化に対応して、これまでの核家族から大家族（多世代）での居住ができるよう、住宅施設の充実を
- *2世帯住宅に力を入れていただき、孫たちを年寄りが見てあげる。保育園よりお互いにとっていいと思います。

－市営住宅入居者の拡大

- *神戸市営住宅入居者の拡大（年代が偏ることなく、いろいろな世代が入居している市営住宅に）。

－持家を担保にした融資制度の創設

- *私は子供がいないため、将来高齢になった時、経済、身体のことを気がかりです。持家（マンション）ですが、私のような人達が集まって暮せる安価な住宅を作ってほしい。マンションでも担保にして貸付（融資）できる制度を作ってほしいです。

－年金マンション制度の確立

- *自分の年金は自分のために死ぬまでに使いきれよう、住食の保証付多人数収容できる個室付きマンションができれば孤独死はない。市が管理すれば良い。公的年金を預かるのだから。神戸市が“年金マンション”のさきがけになりますように。

(6) 環境にやさしく持続可能なまちをめざした取り組みの推進

①温室効果ガスの削減に向けた取り組みの推進

－1人1人が正しい知識をもち、地球と共生する意志が重要

*地球規模の危機を認識している人がどれくらいいるのか？人類は地球のガンウィルスかもしれないが、1人1人が正しい知識をもち、地球と共生する意志をもてば地球破壊の進行は遅らせることができると思っています。地球が近い将来滅ぶ知識をもっと市・日本・世界レベルで広めてほしいと思います。

－1000万\$の夜景を700万\$の夜景に

*大阪湾岸各市に働きかけ、1000万\$の夜景を700万\$の夜景にすべき。神戸がリードすべきではないかと。将来のために、函館や長崎にさきがけて価値を考えなおす。住吉台からみる夜景は素晴らしい、エネルギーの無駄使いだと！
*市内の照明、不必要なものが相当あり。住民を集めた分科会を作って、具体的な情報収集と対応策を考えては如何。

－低炭素社会実現に向けた長期的な視野で設備投資

*低炭素社会実現のためには、一時期の初期投資を厳しい予算の中で割り振ってもらいたい。神戸市の設備は他の自治体に比べ、目先の初期投資を削ってガス空調などを採用し、結局は修繕などトータルコストとCO₂増を招いており、長期的な視野で設備投資が必要である。

【具体的な取組】

－市としてのCO₂削減目標の表明

*他の大都市に比べ市街地に自然に近い都市でもあり、低炭素社会に向けて、市としてCO₂削減目標を示すようなことを盛込んでほしいと考えます。

－公共建物への太陽光発電等の設置の義務化

*公共的建物には太陽光発電の設置を義務化するなど、将来を見越した取組みをしてほしい。
*他都市のまねでなく神戸が日本で最初の発信をすすめる。例えば、温暖化防止対策に全市立学校で太陽光発電・風力・水力・その他その地域に合せた発電を利用する。

－電気自動車の推進

*神戸は坂が多いので、排気ガスが気になります。電気自動車など、排気を出さない車に補助金など出してもよいと思います。
*電気自動車の拡充。電気スタンドを増やす（閉鎖しているガソリンスタンドを利用する）。電気自動車を購入したら減税する。

ーエコサイクルの推進

*エコサイクルの考え方は市よりも民の考え方がはるかに進んでいる。全国に先がけて、ドイツのような取組をして、全国のモデル都市として欲しい！

ー街路樹の適切な剪定の実施

*CO₂の問題で自然の力を借りなければ削減できないのに、街路樹の枝切りがひどすぎます。剪定とは樹のためにするもので、落葉問題で樹木の枝切りは絶対にやめてほしい。根元はコンクリートで固め人間の勝手ですしていることが目にあまります。

ーエコグリーン減税の推進

*地球温暖化防止をキャッチフレーズに今年エコポイント制がありましたが、地球の長い歴史の中の気候変動の結果による温暖化とのこと。エコポイントで家電を買い換えて温暖化防止とは何か変です。大事なものは“緑”です。ぜひエコグリーン減税（中の庭木に応じて減税する、庭木のある土地の遺産相続減税）でみどりの街・神戸を作ってください。

ー六甲山山頂への太陽光パネルの設置と海上への風力発電の設置

*神戸市の地理的条件をフル活用し、六甲山の頂上付近に東西、10キロにわたり太陽光パネルを設置する。海上には、風力発電（常に東西の風が海上では吹いているはずですが。）低周波騒音の問題もあるので、町から離れた所、電力の販売も可能に（ネオ神戸プロジェクトとして神戸市内50%の電力確保目標）

ー奥中国の砂漠化の抑止への支援

*中国と提携し、奥中国の砂漠化をくいとめる運動を提案します。砂漠を緑にし、上下水道を整備することで、日本の自然にも影響するリスクを減らしたい。CO₂削減を国内ではなく、海外を支援することが実現できる。そんな世界を神戸から発進してもらえませんか。

②ごみの減量や資源化に向けた「3R」の取り組みの推進

【リサイクル】

ーリサイクルの推進

*ゴミの減量化は進んでいると思いますが、反面まだ使える物まで細かく砕いて出さなければなりません。必要な人にまわせるように引き取り、リサイクルされては如何？

ーリサイクル効果のPR等

*有料ゴミ袋の一部のお金は何かりサイクルにかかわることに使ってほしい。どれだけのリサイクル効果があるのか分からない。わけとんブックに、もう少しゴミがどうリサイクルされるかを分かりやすくのせてほしい。

ーエコポイントの導入

*環境問題に対しては、リサイクルに協力する市民にはエコポイントのようなものがあるほうがよりいいと思います。ペットボトルを水でゆすぐにも水道代がかかるわけで、多少なりとも協力した見返りは必要かと思われまます。

ー公園等へのゴミ箱の設置

*1人1人のモラルを信じて公園等のゴミ箱を増やし、ペットボトル等の捨てられるのを少しでも回収しましょう。

ー落ち葉の肥料化

*街に緑を増やす活動は進められていますが、剪定した枝や落ち葉は燃えるゴミとして捨てられる場合が多いです。米国で行なわれているように、生物分解性の落ち葉袋を安価で販売し、回収する車を定期的に走らせ、リサイクルして肥料に活用すればよいと考えます。袋の販売に花の苗の無料配布などを組み合わせれば、市民の意識も高まるはずです。

ーリサイクルに関する業者の応分の負担

*ごみの元となる食品トレーなど製造販売業者への相応分の負担を求めたうえでリサイクルを適切に行う必要性あり（便乗値上げなどの監視も同時に行う必要性あり）。

【ゴミ】

ーゴミの分別の細分化

*ゴミの分別は、燃えるゴミはビニール系とそれ以外を分けるべき。もったきめ細かく分別しないと減量にならないはず。横浜市は数千億の効果を上げている。

(細分化の見直し)

*ゴミの分別化をあまり細かくしすぎると、ゴミ出しのマナーが守られなくなるのでは。プラスチックの分別はやめてほしい。

ーゴミ回収日の見直し

*ゴミの分別化以後、燃えるゴミは実はとても少なく、プラスチック等の不燃ゴミがいかにか多いかを実感しています。1ヶ月に2回の不燃ゴミの回収を週一回にして、プラスチック類と他の不燃ゴミを分ける等（他の区でしているようですが）、ゴミの分別化の徹底を1日も早くはかる事も大事だと思います。

*生ゴミの収集は週1回でよい。

*プラの日が少なすぎます。燃えるゴミと同じ量のゴミが出るので回収を増やして欲しいです。それで皆燃えるゴミに捨てている

ーゴミ回収システムの見直し

*ゴミ回収システムの合理化を見直す事、再生紙用原料（新聞、雑誌、ダンボール）回収の民間会社等と業務連携を高め、市指定業者（回収業者）への援助をおさえる。有料ゴミ袋の使用義務化によるゴミ発生量が減少しているなら、なおさらのこと。

③環境に配慮した意識づくり・まちづくりの推進

ー市民の意識レベル・マナーの向上・徹底

*人のマナーの向上で、ゴミの無いクリーンな快適な街をめざして下さい。
*人々の中にマナーの悪い人がかなり多くなっています。人々へのマナー向上運動を強め、良好な社会環境をめざすべきと考えます。
*家庭レベルで実行できる地球温暖化対策を推進して欲しい。市民レベルでの意識向上が絶対の条件です。
*神戸はとてゴミが多く、神戸のイメージはとて清潔なのにとて残念。もつと市民にうたてて環境問題を皆で考えて、クリーンなイメージで神戸をアピールする。

ーごみのないきれいな街の実現

*「神戸の街をきれいに」の標語を徹底して、掃除をしていただくボランティアを募集する。その結果、神戸市は日本一きれいな街と言われるように努めたいと思う。
*シンガポールを手本にして、ごみのないきれいな街にして欲しい。

【具体的な取組】

ー『環境都市』宣言の実施

*今後、路上禁煙、路上駐輪禁止を更に推進していただくとともに「市民のマナー向上」を唄い、モノ：「デザイン都市」とヒト：「マナー向上」を含む真の『環境都市』宣言をしてはどうでしょうか。

ー猫問題に関する条例の制定

*神戸を美しいまちにするために、猫のエサを道路や空地におかない。神戸市条例の作成をお願いします。美しい道路や空地の猫のエサは見苦しいです。
*猫を育てられないのに、野良猫にえさをやる人がおり、ふん・尿・においに困っています。とりしまる条例などを考えて下さい。

ーゴミのポイ捨て禁止の徹底

- *ペットボトル・アキカン等のポイステが目につく。これらの規制が必要。
- *自分達の住んでいる神戸市の環境は自分達で守りたい。タバコ&ペットボトルのぼい捨てを禁止してほしい。
- *歩きタバコのポイ捨て等迷惑行為に対する罰金制度をもっと徹底的に行ったほうが、人にも環境にも良いと思います。
- *タバコのポイ捨て（市全体）、公園・海岸・山、観光地のゴミ捨て罰則化による美化を通じて、神戸を誇れる住みたい故郷にしてほしい。
- *よく内外へ出かけますが外国でも国内でもとてもきれいなのに、神戸市はゴミ・アキカンのポイ捨てなどで汚いです。市民の皆がまず最低ポイ捨てはしないとこと守るべきです。外国からの人にとってもはずかしいです。

ー路上喫煙の禁止の徹底

- *六甲アイランドは、モデル地域としてくわえ煙草を禁止にしてください。道路・公園は煙草のポイ捨てで汚れています。住民で掃除を毎月やっているの、よろしく。
- *毎朝、長田の事務所の前を清掃します。どうしてこの町は、タバコやカン、犬のフンを捨てていくのと思います。自転車で走りながら煙草を吸うから、条例で禁止されているのであれば一定期間取締りを行ってはどうか。
- *喫煙場所が減り、歩きたばこの人が増え、道を歩くのが以前より苦痛です。海外に行ってこんなことはないですね。国際的と言っても、これでははずかしいと思います。
- *神戸が大好きです。でもゴミやタバコのぼい捨てが多すぎます！人間としての基本的なことができていない。「美しい街、神戸」になっていない。「歩きタバコ禁止」にもかかわらず、全く効果がない。もっとPRをしてほしいです。

④都市基盤施設における環境に配慮した取り組み

ー神戸空港への案内標識の見直し

- *地球環境の悪化防止には極力自動車の廃ガスを低減する必要があると思うが、ポートアイランド南の神戸空港への案内標識が何故P Iの西側道路へ迂回するようになっているのか知りたい。P Iへは橋を渡らずトンネルで南下し、そのまま直進すれば時間も燃料も少なくすむのに、わざわざ西へ行くように指示するのは環境悪化を奨励しているに等しい。

ー幹線道路の系統信号の充実

- *国道2号は考えられていると思うが、信号を合わせて青で行けるようにしてほしい。国道176号などは田んぼのあぜ道から出る1台のために、100台くらい信号待ちさせられ、CO₂増加に拍車をかけていると思う。

(7) 災害などの危機に備えた安全な都市空間の形成

①都市基盤等の整備・維持管理

－災害に強いインフラの整備・再整備

*災害のない神戸、災害に強い街を！神戸を支える各種の企業が活動できる街が必要。そのためインフラの整備、再整備が必要である。

－風水害対策の推進

*災害に強いまちをと言いますが、毎年起こる風水害のためなどの対策は全くとられていないように見えます。

－河川の適切な管理

*住吉川の中に樹木や草が生い茂っていますが、豪雨でこれらの草木が流され橋にかかって水がせき止められるという心配がありますが、大丈夫でしょうか。

－道路側溝への網蓋の設置

*深さ60cm以上の道路側溝には網蓋をかぶせる→飲物ボトルや空き缶の投込みで大雨の際、下流域で詰り災害の要因となる。

－六甲山系の都市防災への取組等の海外への発信

*六甲山系の都市防災への取組の進展とともに、山裾から海岸まで発展してきた神戸の市政は、防災後進国に自然共生社会を研修してもらう良い事例としてもっと広く活用することで、国際交流の活発化に貢献できるのでは。

②リスクを小さくするための土地等の使い方の工夫

－雨水貯留タンク設置への助成

*神戸は都賀川の鉄砲水による水害などの被害が続いており、各家庭、事業者が雨水貯留タンクを設置した際、1/2の助成制度を実施してほしい。洪水緩和や節水、被災時の水利用などメリットは大きく、都市型災害に強い神戸を実現するため助成制度をつくってください。

③地域力による安全性向上へのリスク情報の活用等

－TV番組での気象情報の随時提供

*一般TV番組での気象情報を放映希望。どのチャンネルでも警報が出ていても大きくニュースになっておらず、危険。子供、高齢者などインターネット接続できない世代のための災害ニュースを改善してほしいと思っています。

2 地域が主体的に取り組み地域環境をつくる～地域特性に応じたまちづくり例～

<10件>

①密集市街地

－空家・空地等の活用による住環境の再構築

*高齢化に歩調を合わせるように古い戸建・文化住宅の空家が増加しています。これらは防災・治安上マイナスで、地域の衰退と住民の孤立も進める原因にもなります。旧市街地における住環境の身近な再構築（再利用）は地域活性化にとって重要ではないでしょうか。

*まちづくりとして、空家・空地の町を利用循環させ、むやみに自然をくずす開発をひかえるようにしたい。

－インナーシティに若い人が住めるような施策

*近隣をみると空家も多く、中央区なのに人の気配がしないゴーストタウンになってしまった。近くの小学校の廃校の話も出ている現状は、いままで作ってきた大きな資産がもったいないと思います。インナーシティに若い人をもっと住めるような施策が必要。

②成熟したニュータウン

－ニュータウンの活性化への支援

*当地区は団地の中で昭和40年造成と一番古く、少子・超高齢化が他地区より進んでいる（世帯主65才以上が70%）。独居高齢者への対応、急激にふえる空屋対策、人を支え、人に支えられるべく、まちづくり協議会を設立して努力しており、市の具体的支持施策を切望する。

*ニュータウンと言われた町が古くなり、少子・高齢化の進む町をもっと考えるべきである。駐車場やマンションの高層化、交通（バス）網の充実をしてほしい。

－街なかの生活利便施設の充実

*大型商業施設よりも団地の街角に商店（ラーメン屋、クリーニング店、雑貨店等）があってもよいのではないか。規制緩和も必要である。

*西神南地区では戸建やマンションが増えていますが、駅前のセリオのみで生活に必要な店等が少ないように思います。

*西神南地区ではマンションや戸建がどんどん建ち、医療施設や買物する場所など人口に追いついていない気がする。特に中学校はもう一つあってもおかしくない。将来老人の憩いの場とするなどビジョンを持って作るなどしてほしい。

③田園地域

－大沢地域の住宅地・商業地開発

*大沢地域の山の住宅地商業地開発をお願いしたい。それができると、JR三田駅又は道場駅までモノレールのようなものを走らしてほしい。結果として、大阪・神戸のベッドタウンとして高齢者健康化又西日本のレジャー・ショッピングの集積地として更に充実する。

3 活力・知力・魅力にあふれるリーディングエリアの創出———<25件>

①都心・ウォーターフロント

－三宮を中心とした資本投下の実施

*三宮を核として（インフラが三宮に集中している現実から）投下資本を効率的に運用し、特色ある力強い神戸にしてほしい。たとえば、南の防災公園（造成中）の中に野球場かスタジアム（サッカー他）造ったら少しは元気出るかも。

－神戸の玄関口としての北野・三宮間のまちの改善

*北野エリアに至る三ノ宮の雰囲気（風俗店）の悪さが気になります。駅周辺の整備は権利関係で難しいでしょうが、神戸の玄関口としてももう少しどうにかならないかと。箱物の新設に走るのではなく、現状の改善をすすめるのが得策だと思います。

－神戸の玄関口としての新神戸・神戸空港の活気づくり

*他都市からの玄関口となる新神戸、神戸空港の雰囲気が暗い。特に地下鉄新神戸駅～三宮駅は電気が暗いせいもあり、活気のなさが浮き彫りになる。エコが叫ばれる時代ではあるが、もう少し神戸の第一印象となる場を華やかにしてほしい。
*空港島に全国の名所をモチーフ展示した海水滝の広場や神戸ゆかりの世界の名所の模型とかを配置し、遊園地でない一独創を出す。

－神戸の顔としての三宮駅および駅前広場の足整備

*神戸の顔としてJR三宮駅・阪急三宮駅前広場を広くしてほしい。駅も大きく、きれいにしてほしい。箱物には決して反対ではなく、できるだけ立派なものを作ってほしい。

－南北のプロムナードの整備

*神戸を日本で一番美しい街（プロムナード）として備える。具体的には新神戸ー三宮をつなぐ縦の線をグリーンで美化し、加納町には広場を設け噴水をつくる。そして、北野町（異人館街）→新神戸→広場→三宮→旧居留地とつなぐ。

－快適な歩行者空間の整備

*三宮から神戸までの歩道が海側は特に汚なすぎます。せっかくの散歩道なのに、あの汚なさでは台無しです。対応をすべきです。
*加納町3丁目歩道橋にスロープをつけてほしい。横断歩道も南北だけでなく東西にも渡れるようにしてほしいです。
*阪神春日野道駅から神戸赤十字病院への地下道は薄暗く、壁はひびわれ水漏れし、不必要な段差が多く、近くの住民として通る度暗くみじめな気持ちになります。“快適な災害に強いまちづくり”のため、ぜひ早急に善処をお願いします。

－CAFESTREETの形成

*鯉川筋に、終電近くまで営業している「CAFESTREET」が軒を連らね、幅広い年齢層が集える場所をつくってほしい。車利用者には駐車場の充実をはかる。JR元町駅、地下鉄の利用者にも便利。海外ではこういう「CAFESTREET」があって、また、本屋さんも夜遅くまで営業していて学生から大人まで楽しんでいる。相乗効果で飲食店も景気が良くなると思う。

－東灘から明石まで遊歩道の整備

*六甲山に縦走路があるように海辺も東灘(HAT)から明石まで散歩のできる遊歩道でつなぐとか、豊かな自然(山と海)で人々が集えるような神戸らしさを強調する街づくりはいかが？

－港・海岸の市民への開放

*神戸の街の歴史は港が原点です。土・日曜は是非神戸で憩いたいと、船も人も集う施策を望みたいものです。(六甲山から港を眺めると大変さみしいものがあります)

*神戸の港は企業に独占されて一般市民は利用できない。土・日曜日などは開放して市民に親しまれる港であって欲しい。港湾に興味がいったり、関心も集まると思う。

*かつて市民の憩いの場だった海岸が工場や倉庫に占有されている。再び市民の海岸に戻すべき。

－新港第一突堤の経済特区化

*新港第一突堤を経済特区にして、外資のホテルを誘致。NO-TAXエリアにする。アクセスは路面バスか電車を！

②ポートアイランド

－遊休地へのスポーツ施設の整備

*ポートアイランド、六甲アイランドなどの遊休地に、老人、子供、学生、一般対応のグラウンドを整備する。①テニスコート50面～100面、②サッカー／ラグビー4面、③子供遊園地／野球場6面等、安い使用料で老若男女が楽しめるスポーツ施設を整備。交通至便故、全国的にも有名となり、各地から人が集まると思う。

－大学・企業の研修所・研究所の誘致

*神戸＝知の活用場となるように大学・企業の研修場・研究所をさらに誘致できるように街の整備をするとよいと思います。例えばポートアイランドのような大学・企業の集まる特区を広げることでもいいのではないかと思います。

－王子動物園・須磨水族園等の移転による観光拠点化

*企業の誘致が進まない今、ポートアイランド2期を観光の拠点にする絶好の機会ではないか。神戸には王子動物園、須磨水族園と希少な動物等が多くいる。旭山動物園等を見習い、合併をふまえ、魅力のある施設を作ってはどうか。観光・レジャー施設を集約し、ホテルの誘致を計る。近場に魅力のある施設が多くあると、遠方の方は神戸に行きたくなると思う。神戸空港・湾岸高速の利用者も増える。

－カジノの誘致・整備

*ポートアイランド・神戸空港の活性化を計るために、ポーアイの敷地を大いに活用し「カジノ」等の施設を作っていただき財政の危機を脱して下さい。絶対に市民のためになると思います。他の都道府県より先になるよう頑張ってください。

*「カジノ」を作ればいいと思います。賭博場という悪いイメージがありますが、娯楽場（観光）という明るく、楽しいものを（入場にはかなり規制することによって）作ればいいと思います。

*神戸は海上空港があり、観光地もあり、近くには大阪、京都、奈良などの観光地が隣接しているすばらしい立地条件。そこで特区を申請し、ポーアイに『カジノ』（外国人向）を作ればいいと思う。それで現在の債務等はなくせるのではないか？神戸を、日本のマカオみたくすれば経済も活性化するし、そこには雇用も生じるのではないか？

－メモリアルパーク（公園墓地）の整備

*神戸空港の空地に墓地を造って欲しいと思っています。区画もデザインも統一してアメリカにある墓地、公園墓地のようなものが良いと思っています。すべてに統一された、きれいな墓地を希望しています。

*空地に永代供養的な共同墓地をつくってほしい(鶴越墓地は年をとるとお参りにいくのが困難で、後の管理のこともある)。

③兵庫運河

「市民生活部会」に関する主な意見

<376件>

1 一人ひとりを大切にする <45件>

①一人ひとりを大切にする意識づくりの推進

【心のあり方】

－「人」を思う気持ちの醸成

- *人は「誰かのために」働き、役に立ちたいと思う生き物だと思います。この人のために、この地域のために、大切な人が住む神戸のために、と思う人の気持ちがまちを発展させるのではないのでしょうか。指針のすべてにつながるのだと思います。
- *人は人のために生きるのだという教育を幼少時より行なって下さい。

－「道徳」の心の自覚・教育

- *小中高の教育に道徳や倫理などを取り入れ、人がなぜ生きるのかなど、人生や個々人の目的などを勉強する時間が必要。
- *常識という言葉を忘れた、知らないと思われる人、考えられない考え方や行動をする人が増えたと思います。以前の道徳の時間が必要と思っています。人としてのどうあるべきかの教えをもっともっとしっかりやらなければ、人の和はなくなるとしています。
- *今は自分本位になって、相手の立場や気持ちを考えないようになっていきます。お互いにもう少しやさしい心、日本人の心はどこに。相手を責めるより自分の反省も大事。

－家庭教育の重要性

- *各家庭の「基本的な考え方」が非常に大切で、それには各個人が意識をもって暮らしていくことが大事だと思われます。自分の問題ではなく、街全体ひいては全世界（グローバル化）的に考えなくてはならないと思います。
- *神戸の特徴を生かした都市づくりを考えることの基盤として、もっと家族を大切に市民一人一人を育んでほしい。今、お年寄りにはあきらめの目でいさぎよく家族に迷惑がかからぬよう施設に入っている。神戸づくりは心で。

－「自殺」を許さない教育・まちづくり

- *人と人のつながりを密にするのは、時に、わずらわしさやお互いのことを考えすぎて相手ばかり尊重していると、自分を殺して生きていくことになりかねません。もっと大事なのは自分で自分を殺したりしない、「自殺」を許さないような教育やまちづくりだと思います。

－「正しく、まっすぐな心」の醸成

- *現代の世の中では人間としての心のありかたが一番大切だと思います。真地目な心、やさしい人としての真心、正しく、まっすぐな心がほしいです。すべて心です。

一人権の尊重

*私は聞こえの不自由な人達のシンボルマーク「耳マーク」普及活動をしています。すべての人権が尊重される国際都市神戸に期待しています。そして、人と人とのつながりの絆「耳マーク」が神戸市内にたくさん見かけられる日を願っています。

*神戸だけに限ったことではないが、外国の方や障害者に対する差別的行動が多々見受けられるので理想論だけでは解決できない。具体的にどのように進めるのか？人権問題も絡むので難題であるが、進めなければならない課題である。

【外国人市民】

一外国人が住みやすい街作り

(外国人が住みやすい街作り)

*これからの少子・超高齢化を思うと、外国人も安住しやすいまちでなければ、都市としての活力がなくなるように思います。

*少子化の問題もあり、外国からの人材も確保し、外国人が住みやすい街作り。

*日本人市民の連携のみならず、長期在留外国人への地方自治体参政権・選挙権付与など多文化共生の互惠精神を発揮すべきだ。

(先ずは自国の事を優先)

*日本人のモラルが低下していく中、先ずは自国の事を優先させてもらいたい。

*外国人を「あて」にしてはいけない。自己又は自国のためになることを考えている人が多い。

②誰もが参画できるしくみづくりの推進

③安全・安心で快適なまちづくりの推進

一基本的な「モラル」「ルール」の厳守

*一部ですが、モラルの低下が目立ちます。自己中心的で自己主張ばかりし、義務は果さない厚顔無恥な親がふえている。また、子供は交通ルールを守るが、親は守らない。

*ゴミの分別をせず、飼育禁止の団地でペットを飼い公園に犬のフンが落ちている。モラルのない人が多い現状から考え、最低限のルールを守るまちづくりを優先してほしい。

*震災以降、神戸の町にはゴミがあふれ、駐輪が禁示区域に平気で停められ、とてもきれいな町とは言いがたく、商店街の通行不可な通りにも自転車が横行している。ラクガキも街の景観を見苦しくしている。快適なまちづくりを早急に求める。

ーゴミステーションの多言語表記

*分別していないゴミ、曜日を守られないゴミなど、このところ目につきます。日本人がやっているのはモラルの問題。でもゴミステーションには日本語表記しかありません。いろいろな方に伝わるようにするのも必要かと思います。

ー「ユニバーサルデザイン都市」として世界にアピール

*未来に向けては、神戸市はユニバーサルデザイン都市として世界にアピールし先導する位置を確立するための取組を最重要項目として展開すべきだと考える。

*神戸空港にペットの犬をつれて見学に行った時、追い出されました。ヨーロッパではこのような状況は考えられません。国際都市と唱えるならもっと先進国を見習えば？

ー「わかりやすい」住居表示

*地域の表示がわかりにくい。町名の札がこわれ、とれて汚れてどこかわからない。他所からやってきて町名を探しても不明。東町など北区でも古い所は特に不明な所が多い。

*最近、家を探して尋ねられる方が多くなりました。遠い所からこられた方のために丁目・番地がハッキリわかるようにしていただきたい。

【言葉をかけ合えるまち】

ー「ありがとう・すいません・ごめんなさい」が言えるまち

*『ありがとう・すいません・ごめんなさい』などの言葉をかけ合える町といった、お互いのささやかな力を出し合うことで気持ちよく住める神戸でありたい。

ー「あいさつ」ができるまち

*支えあうといっても思いを共有するのはむずかしい。どの方にもあいさつができ、何にでも共感したり、話せる社会。

*声かけが最近少なくなり、とても淋しいと感じます。町内からでもまず、あいさつから始められるよう、それから人を支え人に支えられることができると考えます。

*地域にあって人と人とのつながりがすごく希薄になっている感じがします。あいさつができない。日常の会話の中に思いやる心が欠如。「おかげさま」の感謝から生まれる奉仕活動！あいさつ運動を地域で積極的に！

④市民の主体的な誰もが使えるものづくりの推進

ー「ノンステップバス」の改良

*ノンステップバスですが、車内の段差が多いと思う。車内も一応フラットで、つかまり棒も多くしてほしい。

(1) 子育てを家族と社会全体でささえる

【未婚・晩婚化等】

－「結婚しない」人との税負担の不公平感

- * 少子化は結婚しない人が増えていることも大きな原因です。子供にお金がかからない独身の方との税の負担が公平でないと感じます。
- * 結婚しない、子供を産まない若者がふえています。「自分達だけ楽しく暮せたら良い、子供はいらない」という話を聞く。税金を多くして下さい。

－「出会いの場」の提供等

- * 少子化を防ぐためにも、結婚することが大切。今はなかなか出会いがないように思うので、公的に婚活のお世話をしていただけるようにしてあげてください。
- * 現在の少子化は晩婚化が原因だと思います。結婚しても住みやすいまちを作り、出会いの場も作ったらいかがでしょうか？他県から移住して来られるようなまちづくりを！
- * 未婚の方が結婚しやすいように行政が中心となった神戸市での企画を実施し、家族の重要性と子供たちを増やしてもらうことが重要。人口を増やすきっかけになる。人の数の力がなければ、まちは100%活性しない。

－子どもを産み育てることができる環境づくり

- * 安心して子育てができる環境づくりが必要です。子どもの元気な声が聞こえる、そして安心して医療が受けられるよう希望します。
- * 「保育所に入れない」→「パートでも何でもしたらいい」「知り合いの職場に勤めていることにしてもらう」という安易な形での入所が多く、親の一生懸命な姿を見て育つ子どもと、「してもらう」ことを見て育つ子どもとは成長の様子も違います。少しずつでも細かい課題が解消できれば、もっと住みよい街になると思います。

①母性並びに子どもの健康の確保と増進

－「出産祝い金」の支給

- * 今の若い女性の中には子供を産みたくてもお金がないのでためらっている人も多いのではないのでしょうか。「1人産めば百万円を差し上げます！」とアドバルーンを上げてみてはいかがでしょうか。
- * 少子化対策として、第3子…50万円、第4子…100万円、第5子…150万円の祝金を市から出すといい。

－「不妊治療費」助成金の拡充

- * 不妊治療をしている家庭に助成金制度を。産む意思があります。少しでも不妊治療のための制度があれば、がんばっている家庭に光が指すし、妊娠する可能性があります。不妊治療を受けている方は多いです。その人数だけ子供がほしいと思っているのです。
- * 不妊治療費に年間で100万円以上かかります。現状は大変厳しく、金銭面だけでなく、体力的にも精神的にも大きなダメージを受けています。保険外の治療を続けることはむずかしく、助成金に頼らざるをえません。ぜひ、助成金を拡大していただきたく思います。
- * 不妊治療に対する助成金等が少なすぎると思います。現在、体外受精の治療をしていますが、保険適用外ばかりで助成金はあっても全く足りず、子供ができない自分の体と治療のストレスでもう限界です。子供を産みたい女性の気持ちを考えて下さい！

②地域における子育て支援の充実

【地域社会の成熟化】

－「みんなの子ども」と思う気持ちの重要性

- * 少子化の原因は経済面や保育所不足というより、受け入れる社会が未熟で、産みたくないというのが本音では。子どもを地域社会みんなの子どもなのだと思う気持ちが大切。
- * 最近気になるのは、子供が普通に公園で日中（放課後）遊んでいて、近所の方から“うるさい”というクレームが学校等に入り、子どもが遊べないということがあるということ。社会が子どもに妙に大人を求めていますか？地域で子供を育てる広い心がなくなっている？

－いろいろな人との「交流の場」の提供

- * 子供を地域ぐるみで育てる試みをもっと増やすべき。0歳児の母親は家にひきこもりがちだが、上の子がない人でも参加しやすい地域行事が増える事を期待！
- * さまざまな年代の人が交流できる場があるといいと思う。子供も同学年ばかりでなく、上下の年齢の子、また地域の人とも交流できるとよい。安全面は昨今気になりますが。

－地域の人材の活用

- * ファミリーサポートやシルバー人材を育児に生かし、福井県のように地域で子供を育てていく方法を立案し、まずは実行例を作っていただきたい。育てやすい、学力が高い県が手本としてあるのだからいい所はやっていこう。
- * 地域では様々な分野で能力・人格・心のある方々に（委託・有償ボランティアで）、乳幼児から青少年、すべての年齢層の子どもたちと関ってほしいです。

【医療費・児童手当】

－「子供の医療費」の無料化等

- *子供が義務教育の間、医療費と予防注射（おたふくかぜのワクチン他）を無料にしてください。
- *医療費削減のために“予防”医療に重点を置いて下さい。せめて子供だけでもインフルエンザの予防接種、ヒブワクチンの無料化を。
- *明石市みたいに医療費の無料期間を増やしてほしい！子供を持つ親が増えるようにしないと、年寄りばかりでは町は活性化しないと思います。他県・他市からも住みやすいと神戸を選んでもらえる福祉や医療の行政サービスを考えてほしい。
- *少子化が進むと心配されている中、神戸市は子供の医療費無料が0歳だけなのではないでしょうか？兵庫県の他の市は3歳や3年まで無料の話聞きます。低年齢の方が病気がやすく、不安が多いので、育てやすい環境が必要だと思います。

－「児童手当」等の拡充・見直し

- *少子化対策として、母子への手当を他より多くし、神戸に移住してくる人を増やす。その結果、地方税収がアップする。
- *世帯主の収入だけで児童手当がもらえるかなどを決定するのではなく、共働きの場合、夫婦トータルの収入で決めてほしい。たとえば、夫800万、妻100万の計900万では児童手当はもらえない。夫500万、妻400万の場合は子供の数は同じでもらえる。不公平であり、医療体制にもっとお金を使ってほしい！
- *少子化問題を解決するためには、まず、子供を産むことができる経済状態にすることが必要です。多くの子供を産む世代の人が貧困のため子供を産めない状況にあります。したがって、速やかに神戸市独自の児童手当を設けるべきです。

－保育料の減免

- *子供を産む気にさせるように、第2子、第3子の保育料の減免を同時入所でもなくても適用して下さい。

【青少年の育成】

－青少年の「体力強化」

- *青少年が安全で快適に生活できるまちづくりが必要で、青少年の体力強化（スポーツの増強）が必要である。

－「思いやりや行動力のある」若者の育成

- *思いやりや行動力のある若者を育成し、若者が推進できる社会にする。
- *中卒者は3年、高卒者は2年、大卒者等は1年を「行儀見習い」期間として、清掃や災害地域への派遣等で日本国民が本来もつ「思いやり」の心を育む制度をつくとよい。

③仕事と子育ての両立支援

－総合施策としての待機児童問題の解消

*待機児童問題を無くす。支出として負担となるが、そのことにより転入が増え、後にはその人口を目的に雇用増につながる企業が進出、子供時代の思い出は永遠であり、将来にわたり神戸とつながりを持つ人間を創出することで、神戸に利益が還元されるにちがいない。

－「保育所」の整備による待機児童問題の解消

*産休が終わり、保育所に子供を預けたくても「9人待ち」と言われて困っています。兵庫区の小学校が統合されますが、空教室などに保育所を作り、保育士は数人で、後は仕事を探している母親や地域のボランティアに運営していただくのもよいのではないのでしょうか。

*来年1月に第2子が生れるが、第1子も保育所に入れていない。働けないこの状態を何とかしないと少子問題は解決しない！

*少子化を『予防』する手だてとして、幼稚園・保育所の数を増して欲しい。これから社会を担う『若い人の流入が多い』そんなまち神戸に育ててほしい。少子化に力を注いでいるまちは明るい将来が見えてくると思う。

*公的保育園、幼稚園を早急にもっと増やし、女性の労働をもっと積極的に行えるようにする。女性が安心して、出産、育児、労働ができるようにすべきである。

－「幼保介護一元化」複合施設の整備

*少子・超高齢化を解消するためにも、幼保介護一元化の施設を既存施設を利用してつくり、若いママには年寄りの知恵、年寄りには乳幼児の生命力で刺激を受けることが必須！

*老人ホーム（高齢者マンション）と保育所を同じ敷地内又は隣合せに作り、お互いにお世話できたり、老人にも生きがいが生まれると思う。

*保育と介護を一緒に考えてはどうでしょうか！元気な高齢者に幼児をあずかってもらう。施設と保育所を併設、高齢者の方は認知になっても子供には反応がとっても大きいです。元気なシルバー人材をいかし「たすけあい」をと思います。

*若い人が子供を生んで仕事をしようにも、子供を預ける場所がないのが現状です。老人施設と託児所を同じところに作り、老人といえどもまだ元気な人もおられます。多の人の目で子供を見て、お互いに元気でおられたらと思います。

－元気なお年寄りを「保育士」に

*元気なお年寄りに保育士の仕事をしてもらい、自立や地域とのかかわりを持つことによっていきいきと生活もできる上、お年寄りとのふれあいは教育上いいと思います。

－父親の育児休暇の義務化

*子育て中ですが、もっと働ける環境を作ってほしい。例えば、父親の育休の義務化（今のままでは育児休暇をとる率があがらないので義務にしてほしい）など。

一学童保育・児童館の充実

*少子対策として、共働きの家庭を助ける学童保育の充実をお願いします。特に民間学童保育の助成金のUP等、充実をお願いします。子どもを産もう、働きながらでも安心して育てられる環境作りに力を入れてください！！

*主要駅に遅くまで預かってもらえる保育所や学童施設を鉄道会社とタイアップして整備する。

*子ども達をもっと育てやすい環境整備をお願いします。児童館が5時に閉館では仕事できません。

一中・高校への「給食」制度の導入

*子育て母さんの負担軽減のため、中高給食にしてもらえるとありがたい。

*中学校にも「給食」をお願いします。三田市や西宮市は給食があるのに神戸市はなぜないの??と思っています。

*一番の疑問が中学校でのお弁当制度です。他の地域は給食を取り入れて主婦に優しい町なのに、早く給食制度を取り入れて下さい。お弁当のことでいじめられる子もいるのですよ。

④子どもの安全・安心の確保と生活環境の整備

一「通学路」の安全性の確保

*深江浜町の通学路がトラックで危険です。自転車と歩行者が同じ歩道は子供には危険。自転車通路をつくって下さい。

*子育て世代の外出（行動力）を促す施策が必要です。例えば、歩道の整備（家族全員が下の子をバギーに乗せて散歩できるような幅の広い歩道）。歩道に電柱、道路標識、植木などがあり、歩道が狭くなっているところは、早く改善する。また、段差がある歩道も改善する。

一「防犯ネット」の強化

*3歳児がいるため、「防犯ネット」に登録していますが、声かけ事件やひったくり等とても多いように感じます。この取組を強化していただければ、少しは安心して暮らせるようになるのではと思います。

⑤要保護児童への対応

－「母子家庭」への家庭訪問等の実施

*コミュニティの中での信頼関係が必要ですが、近所づきあいが希薄化している地域ではなかなかむずかしく、母子家庭で低所得ともなると、近所づきあいの余裕もない。その結果、子どもが犠牲になるケースが増えている。まだまだ行政の力が必要で、定年退職された方を雇用して家庭訪問してもらい、地域から閉ざされた家庭が社会と関わるきっかけ作りをするなど、個人が集って地域をつくるという基本を大切にしてほしい。

*社会の最小単位としての家族の崩壊を防ぎ、子供・弱者を地域で見守る地域力を創生すべき。

－発達障害児等の支援

*実際住んでいる者としてはいきどおりを感じる事が多いです。特に学習支援（なぜ学習支援クラスがない学校があるのか？）は、他都市に比べ恥ずべき現状です。外面も大事ですが、内面も誇れる神戸に！！

*まず、子供（発達障害児）の教育等をもっと見直して欲しい。

*子供に発達障害があります。学習障害（LD）です。神戸市ではLD児に対する特殊教級が設けられておらず、遅れています。個々の多様性を認めるならば、ぜひ各学校にLD児学級を設けて下さい。現在では、なかよし学級（知的障害児）しかありません。彼ら（発達障害児）を認める事は非行防止につながります。少年院にはLDの子がたくさんいるのです。

(2) 特色ある教育を推進する

①基礎基本の力と豊かな国際性を身につけた子どもの育成

－「多様な能力」がつく学習

- *家庭でも自治体でも経済の基盤が一番大事である。経済がなければ社会保障も福祉も成り立たない。これからの経済を支えていくのは子供たちである。未来の社会のために教育にもっと力を注いで、多様な能力が身についた力のある子供たちを育ててほしい。
- *小・中学校については、神戸市独自に学習指導要領以上の内容を盛り込んだ充実したものとするべき。学習塾へ行かなくても十分な学力を持った子供達を育成することが「神戸」のまちづくり「知の集積」の基礎となるはずだ。
- *外国語教育など国際都市こうべを生かした教育に力を入れることで子育て世帯を増やし、活気のある街にしてほしい。

－「実習体験」授業の充実

- *知的創造－教育の探究、一桮計算ではだめ。子供対象の橋梁実習、金属加工学習はすばらしい。興味を持たせることです。実物にふれさせることこそ大切。
- *幼い頃から「知の集積」の源たる「実習体験」をもっと増やすことが大切です。各校にロクロは無くとも粘土紙での制作や学級・学年展等、芽を育む教育が重要！
- *六甲山の南北で全く違うという神戸の特徴を生かして、農業体験を子どもにさせるなどしてはどうか。子どもには、いのちの大切さを教えることが何より大切。
- *小学校、中学校、高校の周囲の道路に草がボーボーになっているのを見ると悲しくなります。「トライやるウィーク」はいいですが、安全を確保して、学校周辺の草を抜いたり、美しくする作業も教育に取り入れると“人のためにの心”が育つと思います。

②学校・教職員の力の向上と教育環境の整備

－教職員の適切な能力の向上

- *これから一番大切なのは教育。親があつての子供、公があつての個、ルールがあつての自由。自由とは平等とか民主主義とかいいながら学校の先生は結果として自分勝手主義を教えてきた。先生の採用試験に道德の科目があるのかな。
- *教育現場に質・量ともに充実の教師を配して、体も心も豊かな子どもが成長して大人になり、幸せな社会を創るためには100年かかるかもしれませんが、どこにもない“幸せなふるさと神戸”を創るためには、それだけの長い目で見据えることが必要だと思います。(中央区・50歳)
- *何より大切な『人』を育てていく上で今般の学校教諭の低レベルが気になります。最も人格が現われる『服装と言葉づかい』。汚い風体で良い人格は育てられない。自分に持たないものは人に伝えられない。より良い神戸のために教諭の質の向上を望みます。

一知識人やOB、ボランティア等の活用

- * 優秀な中・高学生を育てるために、すぐれた知識人を招いて特別授業を行うとともに、さらに個々の個性を見つけ出し、すぐれた知脳に磨きをかけていく環境を作る。
- * 少子化の取組の中で、公立学校の先生は一般から良識ある方々にも加わってもらい、ぜひより良い先生指導をしてもらい、これからの神戸を背負う子供のための「日本一の義務教育の街」と世界にも轟くような教育をお願いしたい。
- * 小・中・高校の家庭科の授業で、実習の準備、部屋の片づけ等は教師の負担が大で嫌がられる傾向がある。地域の元教員や実習助手OB等にボランティアで応援してもらうのは、すぐにでも実行できるので呼びかけて欲しい。理科は現在すでに進行中です。
- * 「夜スペ」のような教育の充実や教員に負担をかけているクラブ活動などの課外活動にボランティアを活用するようなことをやってほしい。ただ、それには保護者も文句を言うだけでなく、主体的にかかわれるようなPTAに代わる組織を作る自主性も必要に思う。

一定時制や休日授業の充実

- * 進学できない若い人たちの為、定時制（夜学）や休日の学習教育機関を充実させて頂きたい。

一校庭の芝生化の推進

- * 小・中学校の校庭ですが、中心に芝生を、外側は競技場のように走れるようにして、芝の手入れはプロのアドバイスを受けて、PTA、自治会、婦人会、老人会が順番に手伝ったらどうでしょう。

一「耐震補強」等の推進

- * 少子化で人口が減るなら、幼児、小児に魅力的な神戸市をつくり、他市から人を呼び込めばよい。税金を使用するのであれば、小学校の耐震補強等に使用しよう！

③みんなで子どもの未来を応援するしくみづくり

－「家庭」で子どもを育てる意識づくり

- * 現在働くお母さんが多くあまりにも家庭をおろそかにし過ぎ。せめて、子供が15才位までは家に居て、しっかり守ってほしい。主婦が家に居ることにより近所づきあい等ができる。
- * 保育園をどんどん作って小さい子を親から早く離すことは人間形成上良くない。自分の子を自分で育てることで子どもの心が安定し、親も人間が完成していく。3才以上になると幼&保どちらを選んでも不公平にならない保育費分担の仕組みを考える。
- * 義務教育の間は「お帰りなさい」の声のある環境にならないか。
- * 私の回りには、小学生くらいまでは自分で子供を育てたいと考えている人が多いです。でも、学童保育にまで預けて共働きする人も多いので、その家族と生活レベルを比べると専業主婦は贅沢できません。地域にとってどちらがいいのか？極端すぎるのはよくないと思いますが、働く女性に学童保育という形で支援するなら、家で子供を育てている専業主婦世帯にも何か支援して欲しいです。

－地域での子供の「しつけ」の実施

- * 日本の子供は甘やかされていて、子供のしつけが余りにも悪い。店舗で商品をおもちゃにしている子に「そんなことしたらあかんよ！」と声をかけたら「〇〇チャン、こっちへ来なさい」と親が言った。自分の身に火の粉がふりかからなければ他人事。ぬるま湯につかった日本は海外からバカにされています。
- * 昔は、近所の子供たちの面倒をみて、他人の子も同じように叱ることもありました。今は後期高齢者になりましたが、それでもまだ何か私でも役に立つことがないものかといつも考えます。体のつづくかぎり何かの力になりたいものです。
- * 将来を担う子供に対する「しつけ」に関しては、直接子供と接する大人たちが“メリ”“ハリ”ある「しつけ」をする必要があります。

－教育費・奨学金の支援

- * 現在、子どもが2人いますが、将来大学に行きたいと言われたら行かせてあげたいと思いつつも現状ではできません。少子化と言うのであれば、行きたいと思えば奨学金を受けることができるとか、高校まで無料とは言わないけれど次の学費のためにとがんばれるくらいの値段になるように何とか考えてほしいです。本当は4人でも5人でも子どもがほしいのです。そんな人がきつといっぱいいると思います。
- * 低所得者には高校・大学でかかる金額はとて出せないなので、子供が行きたくても行かせられない状態になります。未来ある希望の子供達に手厚い手当を願います。
- * 経済的理由により進学及び学業継続を断念せざるを得ぬ有為の若者救済策（貸付金、奨学金付与制度）の拡充。

(1) 安全なくらしをまもる

①防災意識の高揚

—経験をつまえた防災意識の継承と発信

*神戸は昔（昭13）、阪神大水害で甚大な被害を受けたが、それを経験した者が少なくなり、他の地区の被害も他人事でない。防災に心がけてほしい。

*震災を経験した都市として、防災には何が大事か等を国内外に積極的に発信し、先進的な防災都市として神戸をアピールすべき。また、形あるものは全て壊れるという体験を踏まえ、市民はあらためて「足るを知る」生活を率先して行うべきだということを行政が働きかける。地球の未来があるとしたら、人間が「足るを知る」生活を思い出すことにしか道はない。

—防災体制の充実・強化

*大震災を経験した神戸ですが、防災月ということで、地域の小学校でバケツリレーなどをやっていますが、こんなことで、実際にもし起こったら大丈夫（高齢者も多いです）？小学校にも皆、避難できるのか？他の自治体で具体的な活動をやっているのをテレビで見ると、自分達はもっと何かなくていいのかと思ってしまう。財政難の自治体に何でも頼るといふ住民の姿勢にも問題ありなので、個々の自治会がしっかりとすればいいのですが。

②協働による安全なまちづくり

—「神戸人パトロール」の実施

*夏休み中は・高校生、平素は主婦や定年後の人が高齢者への支援、夕暮れの防犯等の活動を行う「神戸人パトロール」を郵便局・交番・文化会館等に拠点を置いて実施し、ある日数以上の活動者には、市内観光施設の無料券の配布などを考える。

*仕事をしながら独り暮らしをしています。夜、帰宅時間が遅くなると、家の周辺も電灯が少なく、暗くて玄関まで走って帰ります。夜中には（1時頃）女装した男性がウロウロしている様です。パトロールを強化して下さい。

—自転車に「やさしい」まちづくり

*街で見かける自転車の交通マナー啓蒙キャンペーンはすばらしい運動です。自動車等の自転車に対する交通安全意識レベルは最底です。もちろん歩道を運行している自転車の中にも危険な乗り方をしている方も多いです。いずれにしても車両に対する意識向上・啓蒙運動を行うなど両方のアプローチで交通安全キャンペーンを行っていただきたいです。自転車に“やさしい”まちづくりを推進してください。

－「路上駐車・自転車通行」の取締の強化

- *元町通商店街を走行する自転車をもっと取締まり、走行させないで。大変危険だ！人身事故が必ず起きる。徹底して取締まるべきである。
- *最近、路上駐車取締りが緩くなっています。子供や高齢者にとっては大変危険です。道路に車のない美しい町にもなります。
- *駐車違反の取締りを自治会等に協力・依頼し、ある程度の権限を与える。ゴミステーションのマナーも同じように拡大することにより町の美化環境問題にとりくむ。

(2) 安心なくらしをささえる

①健康づくりの環境整備

－「路上・歩行喫煙」の全面禁止

*タバコの害が指摘されながら、神戸は路上・歩行喫煙に野放図すぎる。喫煙者自身がガンになろうと死のうと自業自得であるが、善良な市民が巻添えをくって病気になったら、市は責任を持てるのか。全面禁止にして取締と罰則を強化すべきである。

*路上タバコ、ポイ捨ては見るだけでもイヤな気分になります。私はタバコアレルギーのため、安心して道路を歩けません。今の状況は一種の差別です。(車イスの方に対してスロープを付けないのと同じ。)快適にくらせるまちづくりをお願いします。

－健康運動への参加による保険料の還元

*簡単な体操やウォーキングで健康になり、転倒など日常の事故を防ぐこともできます。高齢でも健康であれば何らかの仕事ができるので、何より健康で長生きできるよう、公共施設を利用して運動に参加すれば、保険料が還元される等のメリットを与える。

【健康づくりの場】

－「気軽に運動できる」安価な施設の整備

*地域で高齢者が気軽に運動できる安価な施設を作ってほしいと思います。90才でも元気でいられるような高齢者になれるように。

*地域で子供から高齢者までが利用できる公園や低料金で利用できるスポーツ施設等があれば、子供の育成や仲間づくり、健康維持増進、医療費削減につながるではないでしょうか。

*団塊の世代が60才を越え、10年後、20年後、病気罹患率は高くなると思います。今から病気予防、ストレス発散、交流を兼ねて、誰もが気軽に参加し、無理なくできる整体操等、指導者と公的な場所があればと思います。(地域福祉センター等利用できれば。)

－健康イベント等の実施

*超高齢化に向け、元気な高齢者となるために、地域での体操教室等の活性化を推進してほしい。メリット：①医療費削減、②老人施設不足の緩和、③家族の介護負担が減り、子供をしっかり育てることができ、少子化の歯止めとなる、④高齢者の購買向上で経済活性化

*地域での健康体操等、住民が参加できる公園等での健康づくりに市からも参加していただけたら助かりますね。

*海、山に囲まれ、すばらしい環境を肌で感じるイベントとして「ツール・ド・神戸」を開催してほしい。健康とエコブームから自転車にのる人がふえてきました。健康で、エコで、元気な神戸として、アピールしてみてもいい？

一公園の活用

- *中高年が使用できる健康遊具を設置してほしい。公園をみんなで有効に使うと身体にも良いと思います。
- *中国では中高年齢男女が朝早くから公園に集まり体操したり趣味を見せたりし交流をしています。神戸も公園は多いが草花ばかりで、人がいない空園である。避難所だけか？健康づくりの場所にしてはどうか？

②医療体制の充実

【医療施設】

一「救急医療体制」の充実

- *超高齢化や新型インフルエンザ等で市民が医療に依存する割合が高くなるので、大切な命が適格、迅速に守られるよう、救急などの医療体制の整備を求めます。
- *夜間に子供の急病の場合、受け入れてくれる病院がもっとほしい。中央市民病院に負担が集まりすぎて同情する。救急体制にもっとお金をかけるべき。

一「中央病院」の機能強化・増設

- *中央市民病院の建替も良いが、全体を見て後2ヶ所ぐらい同様の機能を有する中央病院がほしい。(反対意見)
- *独立法人になったのかもしれないが、中央市民病院は市民のための病院であってほしい。どんどん遠くなっている。(場所も診察も)

【医師】

一医師不足解消と手厚い給与保証

- *今、市民として一番望むことは医療と福祉！！特に、医師不足解消は国・市の補助拡大をなくしては実現できません。24時間、いつでも安心して治療が受けられるよう、医師・看護師・介護士・そして保育士をもっともっと増やし、手厚い給与保証を。

一医師レベルの向上

- *神戸市内の医療レベルが低すぎます。レベルの高い医師を公立の病院においていただけませんか？県外にまで行って難病の治療をしています。病名不明で病院20ヶ所以上たらいまわしされました。

一小児科医療点数の見直し

- *小児科医を育てるために、国へ小児科医療点数を上げるようにはたらきかける。

【体制・制度等】

一医療システムの充実

- *西区に居住しておりますが、神戸中央市民病院へは、時間的にかかり、バス・電車を必要とされ、経済的にも負担を感じる。明石市民病院も産婦人科が閉鎖されており、女性をもう少しサポートする意味において、自分の市だけでなく近隣の市民病院との協力が必要。
- *各地区に診療所を置き、病気と思われる人はまず診療所で診てもらって、そこから一番適当と思われる専門医に行くというシステムはいかがでしょうか？（他の国でそういう風に行っているところもあるので）
- *在宅終末医療制度の充実

③安全・安心の確保

一感染症の「発生・拡大防止」

- *5月のインフルエンザは体育館で感染。健康、体力維持等のため不特定多数の人が利用する体育館やコミュニティーホール等での衛生面での指導をお願いします（月一回の消毒、空気の入替え、手洗・うがいができる設備の設置など）。
- *インフルエンザなどの非常事態にすばやい対応が必要。その他の危機にも対応できる組織・設備を整えておくべき。

④元気に暮らせるまちづくり

一自立の支援

- *年齢を加えると、体力の衰え等、徐々に自分自身を受け入れなければならなくなる。人生をソフトランディングできる心の問題等をクリアすることにより心身ともに健康を保つことができることは実証済です。それぞれが自立して生きてゆくことの応援をしていただければ。
- *不安を持つ方には甘えのある方もいます。自立できる方向での支援に力を入れるようにしていただくと公平性をはかれると思います。

一高齢者への「働く場」の提供

- *高齢者でも健康な方は限られた時間（4～5時間）でも働けると経済的にも安定し、健康的な生活ができて、病院やデイケア・デイサービスに行く人も少なくなると思います。今のままでは健康保険、介護保険もパンクしますよ。
- *ボランティアだけでなく、60歳を越えた人を積極的に雇うなど、高齢者が生き生きとした生活を送るようにしてほしい。
- *高齢化は仕方がないので「健康長寿」をめざす。病院通いが趣味にならないよう、働く気のある高齢者には働ける環境を。

【ボランティア活動】

－さまざまな活動への積極的参加の推進

- *元気な高齢者は子育て支援、町の美化、小学生の登下校の見守りなどに携わり、まちの若い人たちのためになるように。
- *地域の活力が基本だと思います。特に、高齢者の時間的余裕のある人たちが「遊ぶ」のではなく、地域の子育て（たとえばラジオ体操とか）や安全、環境づくり等で活躍してほしいと願います。
- *元気で有能な高齢者に、週1・2回でも公園の掃除や児童館の管理など地下鉄・市バスの無料乗車券くらいの報酬でボランティアをしてもらいましょう。
- *身体も頭もしっかりしていて、地域社会に貢献したいという気持ちを持っている年輩者が多いと思う。公に任せきりにならず、住民が補完できるところは積極的にやっていくことが望ましい。活発な人は既に動いている。気持ちだけで偏っている人を動かす知恵が欲しい。
- *地域には高齢であっても地域住民に対してボランティア精神旺盛でお役に立っておられる方々が沢山おられます。高齢者と共に未来有望なる子供との触れ合いを大切にする活動の場を多く持つことが望まれます。
- *定年退職者などで何かやりがいのあるボランティアの組織を作り、誇りを持って働けるようにするしくみがあれば多くの力を集めることができます。

－ボランティア活動ができる「機会」の創出

- *夢中で子育てをし、仕事を終えた今、痛感している課題。私は人の心にぬくもりを与えられればと、特別養護老人ホームを訪問しています。お金あまり使わずに、いきいきと生活できるしくみを考えてほしい！！
- *まだまだ体力も気力もあり、積極的に自分の能力をもっとだしていき、お手伝いできる人が多いと思います。ぜひ機会を作ってほしい。
- *社会的活動を一応終えたとされる60才以上の人々が、引き続き地域の中で活動できるしくみを創り出す（元気な高齢者の活用）。
- *高齢者は経験豊富であり、いろいろなボランティアを募集し参加してもらおう。そして、人と人とのつながりを増し、生きがいを与える。
- *既に高齢の域に入りつつ、とても元気で経験豊かな70才代の方の余裕ある時間を、近未来の神戸のために使っていただける企画が増えたらいいと思います。町の美化、小学生の安全などに自主的に協力して下さる方がたくさんおられます。町の委員とか少し面倒な仕事とは違う、知恵を提供してもらえれば参加できる人材は多いように思います。
- *公園の管理や駅周辺の美化、街道樹等の整備、くらしの安全・安心にもっと高齢者のパワーをボランティア化してはいかがでしょうか。
- *町中や公園などの細かな作業を高齢者に提供してほしい。さがせばたくさんあると思う。いきいきしている老人は行き場がある人。

【次世代への継承】

一知識や経験の継承

*医療技術等が発展し、65才以上の方で元気な方が多数居られると思われます。私達は日本の高度経済成長を支えてきたという自負心があります。現役時代の知識や経験を次世代の人々に役立てるような仕組みを考えてみては如何でしょうか。

*高齢者の中には貴重な体験知識の豊富な方々が沢山おられる。これらの貴重な財産を有効に活用する制度を構想し、これら貴重な財産を無駄にすることなく高齢者の生きがいに結びつけて行く体制の確立が必要。

一智恵の継承

*高齢者の知恵を私たちに伝えるボランティア的なサークルや集まりがあれば、お互いに助かるのでは？高齢でも元気な人がお手玉や裁縫、日曜大工等々、私たちや子供たちに今ではなかなかわからない遊びや大切な技術を教えてほしい。

(3) 生きがいのある暮らしをすすめる

①スポーツの充実

【施設】

－スポーツ施設の充実

- *公園の設備充実・屋外スポーツ施設の設置（野球、スケート、サッカー）。
- *健康の第一は運動。運動公園や施設を増強し、活力ある都市にする。
- *深江浜に温泉やスポーツや文化センター設立を！
- *城が山5丁目は公園が少なく、子供が多くいる町でその子供達は運動したりスポーツしたり場所がない現在の状態であります。体育館の建設をお願いしたい。
- *高齢化が進んで行く中、寝たきりにならないために、要支援になる前に、高齢者の運動をカバーでき支える施設が各地域にできることが必要。

－スポーツを通じた幅広い年齢層の親睦

- *スポーツを通じて幅広い年齢層が親睦をもつことが効果的だと思います。老人クラブ、町内会、任意グループの代表が登録をしてパソコン・電話で申込をし、パソコン・電話で結果を知る。公共の建物、小学校、公園、小グラウンドを利用する。建物では、卓球、バドミントン、スポンジテニス、バレーボール（共通のポール穴を作り）、外では用具を入れる小屋が必要。

②生涯学習の推進

－情報の提供

- *支えられて生きるだけではなく、元気であれば自分の持つ特性を生かせる場がほしい。ただテレビをみたり、地域の福祉センターだけで楽しむだけでなく、「もっと広くそれ以外の場所がある。こんなこともできるよ。」と教えてくれるシステムがあるといい。
- *市民福祉大学や老人大学、しあわせの村でのさまざまな取組がなされていますが、「情報弱者」の言葉があるように上記の取組が市民に浸透していません。広報に工夫が必要ではないでしょうか。

－「生涯学習」の健康づくり

- *「生涯学習」の健康づくりを実行する。毎週の集いを実行し、健康を増進する。健康づくりや健康増進に取り組みたい人をリーダーとして養成する。健康が一番大切。

－中小企業の社員に対する各種講座受講の支援

- *市民一人一人が高い意識を持って力を発揮するためには、最先端技術の推進だけでなく、市民全体の教育水準向上に向けた取組が必要と考えます。例えば、中小企業の社員に対する各種講座受講の支援の拡充などが考えられます。

一公開講座の費用の補助

* 文学・歴史・絵画・書道・手工芸・音楽・スポーツ等の公開講座の費用を市が補助してもらえれば、高齢者もたくさん参加したいので、より活性化したいと思います。

③市民の主体的な文化活動への支援

一幅広い年齢層への活動の場の提供

* 音楽や美術を軸にした芸術で都市の成熟度を更に上げる。東京、愛知、金沢、京都に次ぐ国公立の神戸芸術高校、大学、大学院（音学学部、美術学部）を創設し、青少年から定年退職者等の熟年層も広く受け入れ、戦略としての芸術による経済振興まで考える。

一公的施設の活用

* 神戸のまちは、将来、お互いに人々が和気あいあいと助け合い楽しみ合っていかなければならない。したがって、市や公的施設を活用して音楽会・フォークダンス・老人の料理教室等を催されることを望みます。

(4) 安心できる消費生活を実現する

①安全・安心をはじめとする消費者利益の確保

－安心・安全な食品の提供

*食の問題を考える時、田んぼや草ボーボーの畑など見る度に、農業工場（水耕栽培法など）を作り、安く安心安全な品を提供する事ができないものかと。規格外のものでも安価で市場に出回るようにしたいものです。

*高齢化が進む中、安心の一つとして食の安全確保が必要です。絶対に毎日欠かされないのが食の確保です。一日の三度の食事中せめて一食だけでも電話一つで簡単に注文できたらよい。それも公の手で食事を販売していただければ幸いです。

－物価の抑制

*税収の伸びが期待できない理由の1つに、地震で神戸を離れた人が地方に行き、神戸が全ての面で物価が高いということを実感したことがあると思います。

②相談体制の充実

③消費者の自立支援

④機動的なネットワークの構築

⑤地域協働による取り組み

①生活支援

－「老々介護」への対応・支援

*老々介護が珍しくなくなりましたが、元気がいつまで持続できるか不安な気持の中で生活しています。行政のきめ細かい対処、より一層の対策をお願いします。

*最近、まちで見る事が多くなったことは老人が老人を介護している姿です。震災後、若い家族が集まることもいいことですが、一度、考えてみてほしいです。

－「一人暮らし」高齢者への支援

*我が家は母子家庭で、私が結婚すると母が1人になってしまいます。いずれは結婚し、神戸を離れることになるかも知れません。1人で暮らす母の将来を考えると不安になります。地域の人たちとのつながりや安心して老後を迎えられる街になればいいと思います。

*老人が一人暮らしできるように、独居老人家庭がヘルパーを日に3回位利用できるように回数を増やして下さい。

－「人を支え、人に支えられる」介護の実施

*「富山式デイサービス」は、まさに「だれもが人を支え、人に支えられ、誇りを持って生活できる」デイサービスです。そういうところがたくさん増えてほしい。

－学校の給食施設を活用した配食サービス

*子供達に学校給食があるように、高齢世帯の希望者に食事の宅配を！作るのは学校の給食施設、配達シルバー人材センター等、元気な老人もいる。昨今は、民間もかなりできてきているようですが、子供達が喜んで食べている給食を作る人達が二部制にでもして、老人向にもあたってほしい。単価はそこそこはずんで、低所得者には市の補助を！！

－身体的精神的弱者への支援

*身体的精神的弱者が通常の人達に比して苦しい思いをせずに生きてゆける仕組みを行政の手でつくりあげて欲しい。

②地域支援

－孤立化の防止

*社会から孤立している人は人との会話すらできず、病気になっても医者にかかろうとしません。そんな人をどのように救うかは難しい問題ですが、解決しなければなりません。

*社会から孤立する人を防ぐため、働ける仕事を増やして欲しい（若い人から老人まで）→賃金は安くてもいい、簡単な仕事でいい。

ー各種組織の活用による見守り

- *隣保事業の拡充・自治会等の活用による高齢者家庭への訪問制度の創設
- *神戸市婦人団体協議会などと連携し、都会のマンションなど一人暮らし老人の孤独死を無くすため「地域見守り隊」のような組織を作られてはいかがでしょうか。

ー独居老人の「見回り」の実施

- *一人暮らしをしている独居老人の見回りをしてほしいと思います。電話ではなく、玄関でいろいろな話をしてあげたら少しでも元気になられるのではと思っています。
- *健康な高齢者に地域で孤立している高齢者への声かけ運動を定期的にしてもらう(活動時間を記録するものを設け、自分が働けなくなった時にその時間を使わせてもらう)。
- *最近、老人の孤独死がふえている。これを防ぐため、町単位で朝夕、毎日老人と連絡をとる仕組みを早急にするべきである。

ーファミリーサポート制度の拡大版

- *ファミリーサポート制度の拡大版で、元気で若いシルバー世代が登録→子育て世代を助ける。助けてもらった子供達が中高生になり、子供の親の世代も時間にゆとりができたなら→一人暮らしの高齢者の買物や通院の付きそい、災害発生時の高齢者支援のボランティア。

ー地域サロンの設置

- *男女とも単身者が多くなり、自然に「孤独」と隣り合わせの生活が待っています。その人々にまだまだ有意義に過ごしていただくための「サロン」が必要と考えます。場所の提供やお手伝いをいただければ、民間の私達が主になって行動をすることもできる。
- *高齢者が、気が向いた時に一人で立ち寄れるサロンがあればいい。そこに行けば誰かがいて、おしゃべりを楽しめると、一人暮らしの人たちも生きがいを持てると思う。

ー障害者等への支援

- *コミュニティを大切にすまちづくりは大変良いと思いますが、東灘には障害のある人が頼れるところがありません。民間でがんばっている人達をもっと応援していただく対応をよろしくお願い致します。場所の提供や人材育成のためのシステムづくり等。
- *自閉症の娘を今まで同様、地域で安心して育てられる環境であることを願います。親として年齢を重ねる度に不安で、いつまでも皆さんとこの街で生活が送れますように。

③就労支援

ー「障害者自立支援法」の見直し

- *障害者自立支援法施行以降、障害者にとっては、自立どころか生活も危ぶまれる毎日です。国の制度ですが、地方から国へ要望していくことも必要だと思います。

—近所づきあいの「希薄化」

- *私の所では町内会がありません。お隣ですらどういう方なのかもわからず、不安な時があります。
- *人と人のつながりが少なくなっている。自分のことだけを考えている人が多くなっている。お互いに助けなくなった。
- *家族でマンションに住んでいますが、隣の家族のことすらよく知りません。せめて、顔見知りが多ければ犯罪等も減ると思います。
- *「となりは何をする人ぞ」の時代にもどって来た。人と人とのつながりがなく、あいさつも無い。とてもとても淋しくなってきた。
- *時代を問わず、安全・安心社会が生存のためには必要だ。しかし現実には、分譲の集合住宅内で表札は8割近くない。それまでも個人情報なのだ。その上、共有敷地内・建物内にいるからといって住人か否かも不明なのだ。
- *個人情報の開示がなされないで近隣住民の動静が不明となり、問題が生じたときの対応ができない社会となっている。それ故に親しみのない冷たい社会が生まれている。

①人と人とのつながりが豊かな地域コミュニティの形成

【心のあり方】

—「自己中心」からの脱却

- *震災の時、皆のために働いている人がほとんどいなかった。日本人の悪いところは「自分さえ良ければ」。これではダメ。
- *自己中心的に自分を大切にするのではなく、自身の能力を命あるかぎり有効に活用できるような行動をして、人間関係（対人関係）が依存的にならないような中で心温かい近隣とのおつきあいができるように私自身も自覚したいと思います。
- *46年間、神戸で生きてきたが、神戸市民一人一人の自己中心的な生き方がなくなれば、将来的に継続するのはむずかしい。

—「思いやる」心の醸成

- *超高齢化が進む中、自分中心の生活になり、恐ろしい犯罪が多発し、人のつながりが薄くなるのが心配です。お金も大事ですが、その前に「思いやる」心が大事だと思います。震災の時の皆のやさしさってどこに行ったの？
- *地域で個人を支えようとする場合、地域を構成する各個人が自分のことだけでなく隣近所の他人のことを思いやる状態になっている必要がある。教育の問題もあるが、身勝手な大人を教育しなおすことが重要。

－「助け合い」の心の醸成

- *子供の頃、近所とは親戚以上のつきあいで、助け合いながら大きくなったことはいろいろな意味で大事だったと思います。小さな地域からまちづくりをして、「助け合い」の心を持つことを若い方々に伝えていけるように。
- *身近なところから支え合ったり気を付け合ったりしたいと思っても、あまりにもプライバシーを守ることにやかましすぎて、ご近所の人のが分からない。超高齢化社会に向けて、考えたいです。何か起ったときに困るのではないのでしょうか。

－治安に対する不安の解消

- *人と人とのつながりが少ないことを今現在、生活をしていて感じますが、いろいろな事件がありすぎて、人とのつながりをどこまで大切にすべきか悩むところです。子供たちにもあいさつを知らない人にもしなさいと言えません。そのような不安をなくしてほしい。

【取組】

－まずは「小さなこと」から開始

- *人と人とのつながりはとても大切な事です。1人住まいの人達への定期的な訪問など小さいことから始めてはと思います。
- *人と人とのつながりを豊かにする－むずかしいことですが、近所で一緒にする清掃などを具体的にやってもらうことは大事です。
- *近所の方々とのごあいさつから始めて、地域のお茶会みたいなものを開いてみませんか？
- *福祉・医療費の増大を抑え、生活の見直しを計り、食・運動・興味等を向上して、神戸向上に役立てるように、町内で「話し合い」を持つところから始めましょう。

－交流の場の創出

- *神戸は緑が多く、海にも近いということで、他の地に住んだ時に改めて良い所だと実感し、北区へ戻ってきました。今後、何かを大人から教えてもらい体験できる場やいろいろな体験ができる場が良いと思います。その中で人との交流も深まると思います。
- *人と人とのつながりのため町に自然と集まりやすい環境・場所を作っていってはどうでしょうか。

－「隣組」のような組織づくり

- *戦時中の町内会、隣組のような組織を行政指導のもとでつくる必要があると思います。特に集合住宅では近所つきあいは稀薄です。
- *今では個人情報保護法等でむずかしいが、町ごとをいくつかに分け「組」をつくって、つきあいができるようになったらいいと思う。マンションでは住人なのか客なのか解らない。さみしい時代と思う。

－社会への参加・関与の「啓蒙活動」の実施

*社会に対する個人の参加、関与を推進するような啓蒙活動が必須（家のまわりの道路の清掃など街の美化を自立的にやるように仕向ける）

－「子供」への教育の重要性

*人と人とのつながりを大切にするためには、幼い子供への教育が大事ではないでしょうか？私の子供の頃は戦争もあり、下町で皆助け合っていました。そのような生き方も大切だと思います。

②地域を支える人材等の育成

－後継者不足への対応

（ボランティアの高齢化）

*今現在、私達の地域では資源ゴミの分別、業者に渡す作業を婦人会がしておりますが、高齢化で携わる人が少なくなっております。自治会に移行することも考えられますが、主婦で若年層は皆、多忙な人が多い。婦人会の問題ですが、高齢化で参加する人がありません。自然消滅の状態、後継者がいない状態です。地域ボランティアは高齢者では支え切れません。

（忙しい現役世代）

*団塊世代が自治会活動に熱心にとりくむのは結構だが、現役世代をまき込まないでほしい。おいしい思いだけをする、あるいはしてきた感覚での自治会運営では地域はまとまらない。忙しい我々は週末やまとまった休暇時には自宅でゆっくりしたいのだ！！「地域の力」とかいいながら週末を邪魔されたり、プライバシーに踏み込まれるのはいい加減にしてほしい。

－さまざまな人材の活用・育成

*元気な高齢者や子育てを終えた主婦、退職した男性等を地域活動のために積極的に活用すればよい。お年寄り宅の電球をかえるなど、喜んでお手伝いする人がいますよ！

*人と人とのつながりは行政が介入することが難しいように思うので、ソーシャルワーカーの育成と増員という形で行政としての役割を果たされてはいかがでしょうか。

*ボランティアを育成して、1人住まいの方の訪問。地域の集まり、親睦を深める。話し相手をつとめる。

*高齢化を活力低下とみる人が多いが、肉体的な力の低下は自然現象でやむを得ない。長年の体験で得た能力や知恵を軽視してはいけない。こういうものを活用すること。

*高齢者であっても健康に恵まれ高い経験と能力を持っている人がいます。人と人とのつながりが深ければそのような人材がどこにおられるかもわかります。年令だけにこだわらず、知識豊かな人が能力を発揮できれば素晴らしい神戸になることでしょう。

*定年退職した人でも健康かつ頭のしっかりした人のいろいろな智恵や経験等を活用して、市の発展に努力してもらうこともいいと思います。

－「公認ボランティアグループ」の組織化

*神戸はボランティア発祥の地であり、全国に先がけて各地区（自治会、婦人会単位）に「公認ボランティアグループ」を組織して、全てのことに対応できるシステムを作ってはどうか。

－地域リーダーの育成

- *地域リーダーの養成にもっと力を入れる必要がある
- *地域づくりを担っている人の多くは昔から住んでいる人々であるため、地域のまちづくりも固定化しがちです。まず、新しい居住者層をどのようにとりこみ、その中から次世代のリーダーをみつけ、どのように育成していくかを早急に考えるべきだと思います。
- *各町のリーダーの育成とアイデアが重要！リーダーや役員に負担のみがかからない市民の積極的行動にメリットが意識されることが大切。
- *地域でリーダーシップが円滑に発揮できる人がほしい。そのためにも若い人達にも参加を募り、リーダーの役割について教育養成が大事。

③地域活動に参加しやすいしかけづくり

－人間同士の交流が欠かせない仕組みづくり

- *PCや携帯電話の普及で孤立する市民が増えます。地域でも職域でも人間同士の交流が欠かせない社会の仕組みをつくり、そこに幸せが見出される心を育む社会運動を起こさせる動機づけを持続する行政を期待します。
- *地域行事とかわかりませんで、行事とかみんなのできるようにしくみを考えてほしい。自治会をもっと活発に有効に。

－「会員制クラブ」的体質の排除

- *文化的、歴史的また人種的に異なるコミュニティが会員制クラブのように他を排除せず、異なる人々を広く受け入れ交流をすれば、もっと活力が生まれると思います。まずは、マルシェマーケットのような小さな市が各区で土・日に自然発生的に立てば面白いですね。

－情報提供の充実

- *人と人との交流をもっと活発にしていきたい。市区の広報紙にも地域の行事をできるだけ多くし、家に閉じこもりがちな人にも地元での様子をアピールして参加しやすくする方向に取り組んでほしい。
- *行政情報弱者対策を！！行政機関（国、県、市（区）町）の広報紙で「詳細はホームページで」と案内されてもパソコンを持たない（持てない）ものはどうしようもない。行政機関のみへアクセスできる端末を役所・大規模スーパー等を設置して頂きたい。

④ゆるやかな連携（地域ネットワーク）の促進

－「自治会」への支援

- *自治会等の組織のないまちが多く、何をすることも協力が得られない。市内全部のまちに自治会ができるように指導してください。
- *自治会も高齢化で世話係も大変です。各小学校単位での自活会への世話がいただければ、地域のまちづくりも少しは進むように感じます。
- *各地区に自治会があるが、我々のところでは壮年層は共働きが多く多忙。高齢者は孤立している。隣接の自治会を有機的に結びつけ平準化する方法はないものか。
- *自治会と行政との取組をもっと活発にすることが必要だと思います。私は婦人会活動をしていますが、婦人会では男性の協力が得られにくいです。

－「ふれあいのまちづくり協議会」への支援

- *各学区に「ふれあいのまちづくり協議会」があるが、この機能を一層向上させ、市民間の交流を深め、共に助け合う社会をつくりたい。

－「老人会」への支援

- *これから戦後生れの老人が増えてきます。個人の利害だけを考える人は老人会には入りません。老人会をもっと応援して、地域の組織作りに力を入れて下さい。

⑤地域の実情に応じた地域活動支援

－「良識とルール」を守る取組への支援

- *地震の時、市民は良識とルールを保って行動できました。この美点を誇りに思います。そういうまちであり続けられる取組を支援していただければと思います。

－活動の中身への支援

- *地域力そのものが低下している中で一定の人に偏った活動になっているのではないかと。行政は外枠だけでなく、活動の中身への支援をしっかりとってほしいと思う。
- *住民提案型支援制度。地域住民により企画・立案された地域で取り組まなければならない社会事業について定期的に広く一般公募し、これを第三者機関と行政で公開を原則として徹底した調査審査を行い、より公共性のある事業ではあるが地域住民の力では事業目的の達成が困難な部分について行政の支援を行う制度があっても良いのではなかろうか。

－「助成金」等の見直し

- *現在の地域活動への行政のかかわり方について問題があります。助成金の使われ方を調査して必要のないものは切るべきです。特定の人たちだけの活動と人を満足して終わらぬよう、誰でも参加できる地域活動となるように考えてください。

ーまちづくり制度のPR

*『地域主体または市民主導のまちづくり』を進めていくには、まだ市民のまちづくりに関する認識・意識が薄い。まちづくり協定などの存在をさらに幅広い層の市民に知ってもらう必要がある。

⑥地域コミュニティを支えるしくみづくり

ー「協働」による取組の推進

*地域主体として何事も地域がするのではなく、役所も交えて。今は地域に任せっぱなし。役所の方は答だけを持って帰る。役所の方はもっとサービス精神を持って下さい。

*自治会や民生委員だけに高齢者や子どもをまかせず、役所も出向いて実情を聞き取りし、弱者が生活しやすい環境をつくるべきです。

「活力・魅力部会」に関する主な意見

<170件>

1. 働く場の確保と人材の育成

<37件>

①市民生活を支える基盤である安定した雇用の場を確保

【雇用】

－まずは雇用の場の確保

- *まず仕事を作ることが大切。高齢者でも失業者でも働く場を作ること。安い賃金でよく、働く喜びを作ることです（ゴミの再資源化など低賃金で多くの人を雇用など）。
- *神戸の西部からは大阪へは勤めにくい。転職先を探しており、垂水から通いたいと思っているが大阪ばかり。雇用を増やすことが前提。
- *人や社会に支えられる前に、自分でしっかり自分を支えるよう努力することを基本とするべき。そのためには生活保護者や失職者に公共作業関連の雇用機会を与えるべし。

－若者の雇用の場の確保

- *人とのつながりを豊かにするためには、すべての人のくらしを守ることが大切。特に、若い人が安心して生活でき、結構ができる経済力を持てるようにお願いします。
- *神戸で生まれ育った若者が神戸で地に足をつけて働いていける場があれば望ましい。神戸で仕事したら神戸がもっともっとよくなると思います。
- *若者は将来に失望している人が多いと思います。そういった人達の雇用・能力開発を促進してほしいです。このままでは将来を担う人材が育たないと思います。
- *現在、地方で独り暮らしをしている大学生を持つ母親として、就職は大学の地方ではなく神戸に戻って来てくれることを願っています。就職先を見つけるにあたり、神戸っ子として育った環境は他と比べられないようです。

－高齢者の雇用の場の創出

- *定年をなくし、元気な人は能力に合った仕事を一生していただき、税金も納めていただくために、高齢者の働く場をふやす。
- *60～80才の人材をもっと活用する機会を増やし、高齢者でも意思があれば働くことのできる環境整備が必要である。
- *高齢化が進み生産人口が減少することは避けられない。高齢者でも生産できる人も多いので、高齢者雇用の増大が必要。
- *これから少子高齢化が増々進んでいくと思いますので、定年になった方や中高年でもいろいろな資格を持っている人達にもっと働く場所を提供してほしい。
- *定年退職した高齢者の仕事を、国及地域社会がもっと真剣に取り組んで考えるべきである。例えば、河川の清掃、公園清掃など安い賃金でできると思う。

【企業】

一企業の誘致

- * 企業を神戸への流れをつくり、働き場と税収をあげるべきだと思う。
- * 大企業が離散した神戸だけに、新しい人を集めるための企業誘致が必要。
- * 安定した収入がなければ人への思いやりの気持ちは持ちにくいものです。元気に働けるうちは仕事があり緊張感を持って暮したいので、企業の誘致等も力を入れてほしい。

一地元企業を優先

- * 震災の時もそうだったが、公共事業工事に他県の会社を使わず地元中小企業又は仕事にあぶれている職人を雇い入れるべきだ。
- * 建設業は仕事がありません。他県より業者が多く入り、作業をしています。市内在住の業者を重視して市民の生活をお願いします

【正規雇用】

一正規雇用の推進

- * 派遣労働問題を一斉退けて、正規雇用にしていくべきです。生活の根本の安定があつてこそその社会だと思います。賃金が低い派遣こそ、この世から無くすべきです。
- * ニートや派遣のような不安定な仕事では結婚にふみきれない方々がたくさんいると思います。働き盛りの人達が定職につけるように。そうしないと、少子化は増すばかり。
- * 単なる量的雇用の促進ではなく、家族が不安になるような給与で雇うのではなく、普通で生活できる額での雇用を促進して下さい。(東灘区)

②雇用のミスマッチへの対応

一雇用のミスマッチの解消

- * 後継者不在で廃業する零細企業が多い一方で、リストラされた40～50才台の人で商売にチャレンジしたいと考えている人も少なからず存在する。相方を引き合わせる場を商工会議所などで提供すればどうか。
- * 能力があるのに仕事がない、そんなことにならないように、人の交流ができると良いのですが。

③ワーク・ライフ・バランス戦略

一可能な範囲での労働活動

- * 各人がそれぞれの力を発揮できるしくみづくりのうえでは、例えばワークシェアリングのような、できる範囲で労働が進められる体制を整えてほしいと思います。元気なリタイヤ世代が働け、納税できるしくみを作ってほしいと思います。

④就業能力の向上

－熟練技術の若者への伝承

*現在、若者が働く場が少なく、その人の持つ、あるいは、これから伸びてゆく存在能力を十分に発揮できるような社会にするために、熟練した技術を持つ50～60才代の人達の技能を伝承しやすい雇用の促進を進めてほしいと願います。

*神戸にある企業の人材に協力を求め、若い世代にもものづくりの楽しさを伝える活動をしてはいかがでしょうか。

*元気な高齢者が若者に技術を伝える。

－若者の職業訓練支援

*若者の職業訓練サポートなど「神戸に行けば仕事を身につけることができる」といった若者の集まれる環境を整えてほしい。

2. 産業の振興による地域社会の活性化——<18件>

(1) 地域産業の活性化

①市民の生活に結びついた農漁業の活性化

【後継者】

—農業に従事する後継者の育成

- *西区は農家が多いが、後継者が育たない。もっと深剣に農業の行く末を考える政策を考えて下さい。若者が農業に意欲を燃やせるような何かを基本計画に取り入れて下さい。
- *神戸は農業の面で高い潜在力を持っていると思いますが、西・北区で農地の減少が進んでいます。これに歯止めをかけ、若い力が農業に入り込めるしくみがほしい。

—高校での専門教育の実施

- *未来に向かって自然の恵みを活かすために、農業・林業・漁業と人材を育成し、後世につなげていく必要があると思います。例えば、高校に関連した専門分野を作り授業料を安くしプロジェクトを立ち上げ、卒業生の働く場を確保する。エコにもつながる。
- *高校に農業コースを設け、農業が継続できるように人材を育てる。

【農業産業】

—先進的な農業産業の創出

- *西・垂水区を中心に先進的な農業産業を創出してはどうでしょうか。輸入品にも負けない商品を産出し、市内の大量消費地と結びつける工夫が要りそうです。国の農政は頼りにならないので地方分権的農政が必要です。

—地産地消の推進

- *無農薬農業を推進し、地産地消にも力を入れて、環境のよい美しいまちで心身ともに健康な人々が増えることを望む。
- *農畜産業の振興と消費流通制度を改革し「地産地消」制度を確立する。

②地域の生活に結びついたものづくりの活性化

—子供の農業収穫体験

- *豊かな農地がある神戸で、子供達が農業収穫体験できる機会を創出する

—ブランド野菜の生産

- *スーパーで「ひょうご旬菜」を名前・地区付きで販売すると、思い入れでブランド野菜が生まれるのでは？

③地域の商店街、小売市場の活性化

一市場・商店街が元気な活力のある町の復活

- *50年ぶりに親に手をひかれて通った商店街を歩きました。3～4才くらいでよく覚えていませんが、とてもきれいでした。震災の影響もあって何かとても淋しくなっていました。ノスタルジーかもしれませんが、何かあの明るさ、活気の戻り方は？
- *私の町は小さい頃は子供がたくさんいてにぎやかでした。現在、高齢者の町になり市場もほとんど開いておらず、さびしい町となっています。昔の活気のある町にできませんでしょうか。
- *兵庫区の稲荷市場の現状を見て欲しい。息たえだえで暮しています。地震から15年、来年までもちこたえられません。行政の力でとり残された人に力をつけて下さい。
- *市場・商店街が消滅して人の流れも変わり、町の活気も消え失せています。少子・高齢化が進み、購買力も低下しているにもかかわらず、大型量販店やコンビニエンスストア等の進出で、市場・商店街の商売人の廃業等で活気がなくなってしまいました。行政の強力な行動（テコ入れ）で、神戸が以前のような活気のある町に再び戻るようにお願いします。
- *多くの神戸市民は町を愛しています。しかし商店街は多くシャッターをおろし、ハーバーランドなどの大型ビルもガランとしています。神戸は小さくこじんまりした町です。その良さが生かされていません。
- *山陽月見山駅周辺に昔から住んでいるが、街に活気が全くなくなりました。昔はにぎわっていたのにどんどん過疎化が進んでしまっているように感じる。JRの新駅ができたのは便利でいいかもしれないが、そのことで山陽近辺に住む商人たちのことをもっと考えてほしい。あの周辺の活力を取り戻すような整備を行ってほしい。

一空店舗等の活用

- *街の活性化となるように、例えば新長田の再開発ビルの多くの空店舗や各商店街の閉鎖のままの店舗を有効利用する。低家賃で個人・自営業店舗を入居させ活気を戻す。また、高齢者・障害者・子育て世代などへの公共サービスなどのスペースとしての利用も考えて人の集まる場所にし、かつ商いが潤うように総合的に考える。
- *セルバのスーパーの上のスペースが空いています。老人ホームと保育所をつくるといいと思います。駅も近くみんな利用するのに便利です。子供たちと老人のかかわりもできいいと思うのですがどうでしょうか。

(2) 暮らしを支える企業の育成

①家庭機能の支援サービスの活性化

②社会的企業など多様な形態の参入

3. 先進港神戸と神戸空港の機能強化 〈36件〉

①国際水準の質の高い港湾機能を備えたみなとの形成

－基幹機能としての港の強化

- *日本の海上交通の拠点として、国内外の競争に耐えうる港湾機能の整備・拡充を切望します。
- *神戸の基盤は港であり、港の整備発展にもう少し力を注ぐべきではないか。
- *IT革命がますます進展するので21世紀末には国の境がなくなる。港と空港を拡大発展させ、とにかく国内外の人の出入り、動きを活発にすることで発展が可となる。

－大型客船が入港できる港

- *大型客船入港による海外との人の交流、観光客の誘致が神戸港の魅力を高める策の一つである。神戸港のターミナルにも横浜港の大栈橋（2隻以上同時接岸）や大阪天保山（集客）のような施設が必要。美しい港として評価の高い神戸港に大型客船が数多く入港しやすい環境づくり（10万トンクラスの客船入港可など）が将来の神戸経済にもプラスになろう。

－港の発展に伴う産業・雇用の促進

- *神戸港に関連する経済、産業の発展の重要性と、それにとまなう雇用促進が望まれます。ひいては神戸市の行政収支が良くなり、住みやすい神戸をめざしてほしい。
- *港の復興を重点的にとりあげること。港に関連する仕事に携わっている人の多い神戸。現在は神戸の港は沈没したままで、関連業務、企業は衰退する一方です。

②多様な物流ニーズに対応できるみなとの形成

－港の優位性、利便性の向上

- *昔、神戸港は横浜港と並んで2大貿易港として外国船の出入港も多かったが、阪神大震災後はどうも寂れたように思える。船の出入港費を下げるとか貨物の集配率を迅速にするなど、いろいろと考えられる手を打って神戸港を昔のように賑やかな港にしてほしい。
- *港湾の優位性、利便性の向上を図る（水深、24時間稼働、利用料低減、サービス向上等）。

－貨物取扱量の回復

- *神戸港の貨物取扱量ランキングを見ると、その地位低下に驚く。震災で他港にシフトしたものが戻らないのは、設備・コスト・規制等の魅力が欠けているのではないか。

－大型船が入港できる港

- *地場産業の発展のためにも、港は流通手段として大切だと思います。港を整備し、大型船も入港できるようにすべき。

③臨海産業エリアの用地の有効活用

ー各種企業の誘致

- *将来の人口集積のためにも、社会資本の整備を補完しながら、既存のポートアイランド・六甲アイランドの空地に企業を誘致するため一層の努力が必要。
- *トヨタ、日産、三菱自動車などの車のメーカー、パナソニック、シャープなどの弱電メーカー、IT産業を誘致すること。
- *空港を作ったのならもっと積極的に活かす工夫を！！そのまわりの空地いつまでそのままにするのでしょうか？

④利用者ニーズに対応できる神戸空港の機能充実

ー神戸空港の国際線化

- *神戸空港から成田、韓国仁川にチャトル便を増発することにより海外に近くなり、大企業が誘致しやすくなる。
- *神戸港と同様、神戸空港も国際線の発着。上海、ソウル、ハバロフスク等、国際交流のためにも重要だと考えます。
- *神戸空港は、できた以上は国際空港化して充実したものにしてほしい。

ー3空港の整理・統合

- *関西空港の合体（関空、神戸、伊丹）近い将来3空港共、立行かなくなる。
- *伊丹空港を廃し神戸空港に切り替えるべきだ。でなければ無駄な経費ばかりを食うことになる。「神戸空港を作った目的は何なのか」を忘れないでほしい

ー関西国際空港との差別化

- *神戸空港はLCC（格安航空会社）専用の空港として、関空との差別化を図っては。欧米の衰退都市を反面教師に検討して下さい。東洋のマンチェスター大阪がダメになったように東洋のリヴァプールみたいにならないで下さい。港まち神戸からの脱却発想が必要なのでは？

ー増便等

- *新幹線が終わった時間帯に、東京から神戸に戻ってくる飛行機の便を作ってもらえればと思う。
- *空港開設以来、神戸発着の航空便が減る一方で大変憤慨しています。特に、出身者の多い「鹿児島便」が廃止となり、利用価値がありません。せめて、盆・正月の臨時便でも運行するよう行政として尽力願います。

－貨物・流通空港としての強化

- * 神戸空港を貨物のハブ空港にしてはどうでしょうか。それにより流通業等が変わり神戸全体の産業構造が変わるのではないのでしょうか。
- * 神戸空港の位置づけ、活用方法が良くわからない。今のところ何の強みにもなっていない。貨物専用空港にして神戸港との相乗効果を狙うとか、何か特徴を打ち出さないと、ただの田舎空港の1つになるだけである。

－空港は廃止すべき

- * 市の経費が増える、税収の伸びが期待できない等については、神戸空港の赤字が左右されていると思います。抜本的に廃止するべきでないか？先々、市民の負担にのしかかって将来の不安が大である。
- * 財政が乏しいにもかかわらず、空港関係に力を入れているのでばからしい。まったく市民を無視した行政で、神戸はよくなるまいだろう。
- * 赤字の飛行場などは廃止してもよいと思う。どんどん便を減らされて、いつまでも採算が合わないと思う。

4. 神戸の魅力発信と集客観光の強化 〈28件〉

ー観光事業の強化

- *神戸発のインフルエンザがあったことも原因とは思いますが、政令指定都市として全体面から見て昨年は17都市中7位でしたが、今年は15位に転落しています。神戸に多くの観光客が来ていただけるよう、行政としての取り組みをお願いします。
- *神戸は海・山などに囲まれた美しい町です。産業と言えば、造船、ケミカル（長田等）ですが、現在では中国や韓国に負けてしまい、観光事業等に力を入れて、若い人もどんどん仕事のできる町、また収益の出ることをしてほしい。

①オンリーワンの観光資源の活用

ー1000万ドルの夜景の活用

- *六甲山からの夜景の代えがたい美しさを世界中の人々に知ってもらいたい。
- *世界の100万超都市で海・山・街と三拍子そろった観光資源を有する都市はリオとケープタウンと神戸です。これを活かさない手はない。具体的には六甲山トンネル中央から山頂までのエレベーター建設によってアクセスの増加と利便性、話題性が観光客を生み、活性化につながる。予算措置と国立公園法をクリアしなければならないが。山頂の清涼さと夜の山頂からの1000万ドルの夜景は人々を引きつける。

ー北野異人館の活用

- *異人館はよくても周りの雰囲気が悪く、がっかりしました。不法投棄があり、土産物店や飲食店は派手な看板で、異人館には似合わないものばかりで、全体的な改善が必要です。また来たい、友達に勧めたいと思える観光地になることを願っています。
- *洋館と緑を維持し、大人にとって歩きたい街にしてほしい。たとえば新神戸のアンティークマーケットを異人館街に移し、西洋アンティークを見て歩く街になるように形をととのえる。チケットを売る場所が目立ち過ぎるので、時代にあわせてネットでクーポンなどにし、魅力あるまちにしてください。

ー須磨海岸の活用

- *大雨後の須磨海岸がゴミの山でとても残念でした。市民としてなんとかしたいと考えて拾いましたが…どうしたらきれいになるのか？困ってしまいました。こんなことでは他県の人に来て二度と行きたくないと思うだろう。

ー夢のある施策の推進

- *神戸に来なければ体感できないオンリーワンの世界に通用するイベント作り。神戸まつりやビエンナーレの予算はいらない！オリンピック招致など夢のある施策が必要。

一徳川道の復元整備

*徳川道の復元整備はできないものかと考えております。有力な観光資源となりましょう。森林植物園に資料がありました。

②着地型観光資源の国内外への発信

一観光資源の活用

*神戸には観光資源がたくさんあり、観光に力を入れて、町全体が観光客でいっぱいになるような企画を考えて下さい。町を元気づけよう！！

*名所・旧跡、伝統文化・施設の再発見で人・物・情報の交流を計り、観光施設と組み合わせて活性化させる。

*私は神戸の再生は観光にある、新しい観光を考えるべきではないかと思います。歴史と文化あふれる神戸を新たな視点で観光を考え、若者と高齢者が集う都市に再生できないものか？都市とジャズ＝音楽をミックスするのも一つの手段。

一神戸みやげの充実

*他府県からの修学旅行生が「さすが神戸みやげ！」とみんなが思うようなおみやげが神戸にないと思います。新しく作るもよし、今ある商品で「これだ！」と思う物を強くアピールするもよし。若者にステキな物を持ち帰ってもらいたいと思います。

一観光施設の回遊手段の整備

*「神戸ってなにがある？」と言われると返事しにくい。兵庫だといろいろあるけれど三宮に行くなら梅田へ行くと言われる。ミュージアムなど伊藤町近くにあったりHATに美術館はあるけど、地味に遠い。ループバスのルートをもっと増やしてもいいのでは？

*シティループのような観光バスを低価格で運行し、アウトレット、有馬温泉、キリンビール工場、フルーツフラワーパーク、農産物販売所などを回れるようにすると楽しいと思います（実際他県から来た友人を案内するのに不便だと思った）。北神地域も神戸の観光としてお洒落な雰囲気をもって観光客にリピーターになって欲しい。

*もっと観光・歴史資源を活用すること。兵庫県は観光資源の宝庫である。例えば東京のハトバスを見習い、六甲山、居留地・異人館、兵庫区（清盛時代の遺跡等）、須磨・舞子、明石海峡大橋・淡路島、姫路・赤穂をPRし、観光の足・ルートを整備する。観光バスを神姫バスに一任では駄目。もっと行政が先頭に立て！日本全国に良い手本はいろいろあり！

③神戸の魅力の発信

－神戸の魅力のPR

- *神戸は観光地として非常に魅力ある街です。私は、観光に力を入れ、世界から多くの人に来ていただき、収入を増やすことが最優先されるべきだと考えています。神戸が観光ですぐれている点は海・山・街がコンパクトに収まっていて、案内地図などがすでに整備されている点です。私も知人・友人にどんどんPRして、我が家に招いています。
- *三宮（または神戸）駅で下車して“六甲山”と“神戸港”をみたいと思っても、大型の案内標示がなく、またアクセスが複雑。1日で海と山を楽しめるプランと総合的交通手段を準備する必要あり。住民は海と山を満喫している。これを人に伝える方策を！
- *他都市のようにもっと神戸のPRを上手にする方法を考えればと思う。高松のたった1玉100円の「うどん」を食べに何千円も掛けて出かける人が多いのは魅力があるからです。神戸に行きたいと思う物をもっと作るべきです。
- *「神戸に住んでいる」と言うと「いいな。神戸って響きだけでもオシャレよ～」と言われるが、その神戸に遊びに来るかと言うと、あまり来ないらしい。「大阪には行くんやけど」と言われることが多いので、もっと観光をPRしてほしい。
- *恵まれた自然を生かし、観光・ファッションのまちと位置づけ、国内外にPRしましょう。
- *東京や名古屋等からの団体観光客を受け入れる体制を構築する必要がある。

－多言語による案内の充実

- *これからは地方が主体となって世界的にも生き残っていけるような競争力を付けなくてはいけないと思うので、例えば観光施設の多言語による案内を充実させるなど、海外の方にとっても魅力的なまちづくりを進めてほしいです。

－花時計の魅力化

- *「花時計」はフラワーロードの象徴でありながら地味で、よく観光客の方が落胆されています。前で写真を撮りたくなるような華やかさが求められます。

－マナーの向上

- *京都、大阪と較べてタクシー運転手のマナーが悪い。来ていただいた方々に良い印象を持っていただき、何度も訪れてみたい街に成長することが課題ではないでしょうか。

④滞在型観光の推進

－1000万ドルの夜景の活用

*かつて京阪神のOB会を摩耶山天上寺で行なった。その時、皆から夜景をこれ以上の馳走はないと絶賛を受けた。そこで思いついた。姫路城、明石海峡大橋、鳴戸の渦潮、神戸の夜景を組み合わせ、夜景を見ながら一泊して京都へつなげるルートをPRしてはどうだろう。海外からのツアーや修学旅行生等をターゲットに。

*六甲山からながめる1000万ドルの夜景は日本3大景といわれ、神戸の夜景は宝石をちりばめたようだといわれますが、観るところが六甲山頂という非常に遠いところから観るため、市街の明かりが小さく見えます。東灘区の保久良山からみる神戸の夜景を観るのも六甲山頂から見る夜景とは非常に違った良さがあります。市街から簡単に行ける（車でも）市の東部あたりに観光場所を作ってはいかがなものか？

－ベイシャトルの活用

*ベイシャトルを利用した姫路・神戸と南大阪・和歌山の相互旅行の推進（旅行社の協力も必要）。

－県外からの来訪者の高速代無料化

*海外から見た神戸は、日本の歴史を感じない町で外国人から見て魅力ある町ではない。国内、特に近隣より人に来てもらう。神戸での買物・食事・バーといった所に来てもらいお金を使ってもらう。そのためには県外からの高速代等を市で負担し、神戸までの費用負担をなくし気軽に来てもらう環境作りはいかがでしょうか。

5. 「知の集積」による新たな価値の創造——<23件>

— 「知の集積」による飛躍

- *最先端医療センターやスーパーコンピュータは一般市民には理解できない難しいことですが、近くに空港もあるのでお互いを活用して発展して行ってほしい。
- *神戸市の活性化のために知的産業的な企業誘致を計り、税収を増やす。
- *持続的に発展できるよう「知の集積」を進めてほしい。産業面でも日本の中心都市になってほしい。
- *神戸独自の“知の集積”を実戦・実行に向け進んでほしい。国政も注目する新発想とアイデアで行政を動かしてほしい。
- *「知の集積」は脱株式会社を宣言し、知の集積が活性化につながるもの見方を示されている。都市の適正規模を考えると、従来のように造成を進める必要はない。

— 技術の流出の抑制

- *本当に高い技術の流出は、地域にとって負です。是非押し進めてほしい。

①神戸医療産業都市構想の推進

— 世界に発信する医療産業拠点の形成

- *不況から脱却できず、少し活気がないと思うなか、ポートアイランドの産業都市構想は興味深く思います。世界に通用する拠点になってほしいと思います。
- *国際都市神戸ならではの「知の集積」大いに結構だと思う。とりわけ医療産業都市をめざし、神戸の特色にして欲しい。
- *日本人の真の感性が失われており、分子生物学の分野、世界の知性を集めることが重要です。医療産業都市はそのための社会インフラであるべきです。
- *神戸が進めている「医療産業都市」が他都市に波及し、そちらが重点的にならないように、海外の事業所の誘致に力を入れて世界一になるよう、もっと「知の集積」が必要。
- *心ならずもインフルの悪イメージを日本中に与えてしまった神戸、これを機にその成果を掲げ神戸市を医療先端都市に押し上げ、それら「知の集積」の人と資金がなければ神戸づくりどころか福祉でさえ停滞に陥るだろう。
- *医療産業都市構想を進めたら如何でしょうか。あれもこれもでは中途半端になり、ひとつ世界に通用することに力をいれるのがいい。
- *神戸空港と医療産業が両翼となる発展をイメージしていましたが、神戸空港は減便、減路線が痛々しいです。医療産業都市構想をもっと前面に打ち出していきたい。

一 医科系大学の新設

- * 医療産業都市を発展させ、規模・医療の拡大と医学部の大学を作る！
- * 同じ人口の京都市と比べて大学の数が少ない。P I の医療都市構想の一環で市立の医科大学を設けましょう。

一 医療関係の企業の誘致

- * 神戸は医療、福祉で他都市よりも優れていると思います。ポートアイランドなど、医療関係のベンチャー企業を誘致しているとは思いますが、まだ土地は空きが多く、もっと誘致に力を入れれば、新たな雇用も生まれ税収も増えると思います。

一 立地場所の再検討

- * 知の集積づくりでポーアイに拠点を置くのは、一見合理的ではあるが、震災の時のように、どんなに良い設備があっても機能しないのでは、宝の持ち腐れと思われるかもしれませんが、どう考えていますか？場所に問題アリです。

② 次世代スーパーコンピュータの利活用

一 次世代スーパーコンピュータによる効果の波及

- * 次世代スーパーコンピュータの整備の支援などは是非と思われます。でも莫大な経費が要ることですから、そういう意味では行政経営をしっかりとせねばなりません。
- * 次世代スーパーコンピュータの整備や支援などを行い、「知の集積」を進め、新たなまちづくりに高度な技術と教育とその基盤を神戸に集積することが考えられます。神戸づくりに大きく寄与することになります。

一 少々、不安

- * 次世代スーパーコンピュータの整備支援の今後やや不安を抱きます。神戸の取組はよいが、受ける世界等の現状が多少気になる…そうならない未来を祈念するばかり。
- * 次世代スーパーコンピューター、数年たてば粗大ごみ＝残骸でしかなくなりますが、すでに設置棟の建築が始まっている以上、中止は出来ないでしょう。ただし建築単価、コンピューター部品単価は下がっており、精査して支払うべき。

③大学など知の活用

－大学の研究者の活用

- * 知の集積について、学識経験者をもっと活用すべきだと思います。例えば神戸大学の経済、経営分野で。経済の活性、ビジョンについても十二分に活用すべきだと思う。
- * 優れた知識や技術を持つ人が多い中、それらを有効に活用したり、強みとして発揮できる場が日本全体で見てもまだまだ不足しているのではないかと思います。この大きな都市であることを生かし、知の集積を目指していければ良いと思います。

－世界の科学者・技術者の招聘

- * 世界中の優れた科学者・技術者を招き、次世代を託す若い医師や関連技術者を育成する。そのための関連専門学校の設立、又は関連部門増設する学校に厚い手当をする。
- * 神戸には世界に冠たる知的技術、産業が有りますか。産学協同もしくは知的リーダーを招いてでも、3年後にはこの技術（バイオ、水、ロボット等）でリーダーになるという方向が必要！

－海外留学生の支援

- * 海外留学生の発信基地として積極的な支援を行い、市民及び住民に理解を得て国際化を図る。

－人材の市外流出の阻止

- * 知の集積を図るため、市内にある大学等の市外流出を止める努力が必要。

①新たな成長分野で活躍する企業の集積と展開

－世界的分野の支援

- *シンガポールの国家繁栄策を参考にはどうか。世界的に認められる学術分野・産業の確立・海外からの移住で労働人口を増やす。
- *魅力のある企業・発展性のある企業の誘致に力をそそぎ、税金をあげる事が市民の福祉にもつながっていくことでしょう。

－エネルギー・環境産業の支援

- *エネルギー輸出国になれる日本、その輸出の窓口に神戸がなってほしい！バイオエネルギー、太陽、風波力他
- *長年、重厚長大産業に依存し過ぎてきた。電子機器省エネ関係外未来型の産業の導入を計るべき。よって税金を増やし、福祉医療、小児化対策予算を充実させる。
- *神戸市独自の産業を開発（ブランド化）、埋立地に市のソーラシステム電力公社設立・必要な法改正を行なう
- *他の都市と横並びでない政策で街を発展させて下さい。環境ビジネス（雑草や紙から作るバイオ燃料や太陽光発電・電気自動車など）にもっと積極的に参入してほしい。

－バイオ産業の支援

- *医療に限らず「バイオ・化学」産業まで領域を広げて企業を集積するべき。医療関係の企業のみを集積させようとしても母数に限りがあるため厳しい。食品・農業・化学品業界となると産業のパイが非常に大きくなると思う。
- *国際的なコーベを使ってバイオ産業等の（メディカルテクノロジーはとても良いと思う）新しい人材確保に又国籍を問わないすごい活力ある企業誘致をすすめてゆくことが、安心を希望する人が落ちつくところである。
- *バイオの将来性と重要性に鑑み資源の最重点配分をすべきと思う。

－金融保険物流拠点の形成

- *神戸の過去の技術と知を生かした産業創生・海事クラスターから未来産業が生れる。海運特区を作って金融保険物流拠点とする。海事派生産業は今後10年で6兆円（環境）となる。アジアの発展に取り残されないよう官は頑張れ！！

－福祉ビジネスの創出

- *福祉の仕組みづくりは様々な知恵と工夫が不可欠。行政は支出の抑制ばかりを考えているようすが、有効な機器の開発、看護・介護用品の改善と人的負担の軽減のため用品の開発、そこには新たなビジネスが生まれ、新たな人材・専門職員の育成が起こり需要の拡大が望めます。

②産学官連携による優れたものづくり技術開発の支援

－中小企業の高い技術力の活用

* 中小企業の高い技術力にも目を向けてほしい。

－造船業の重視

* 日本は島国で周りが海なので、日本の造船は必要です。水位が高くなり困っている国に造船の技術、ノウハウを使い箱舟のような家を考案してほしい。

－世界トップレベルの技術の活用

* 神戸には（少なくなったが）日本の産業を支えた世界トップレベルの技術（造船、鉄道）がある。環境技術でもリードするこの技術の情報を発信していくことと、デザイン都市・神戸の取組を結びつけていくことが重要であると考えます。

－大学・研究機関の誘致

* 国内の特殊技術・技能等を保有する企業の誘致を可能とする高度知識集団としての大学、研究機関の誘致による人材育成。（男性）
* 技術を生じた大企業をもっと発展させ、国際都市神戸にふさわしい港町神戸として、商業を発展させ、消費社会の楽しい町となることを望みます。そのためには技術的な学校の建設も必要ではないかと思います。

③新産業創造に向けての起業家などへの支援

7. 都市の創造性の向上 〈12件〉

(1) デザインを活かした「ものづくり」の支援

- ①デザインを重視した中小企業の競争力強化への支援
- ②アパレル、シューズなどのデザイナーの人材発掘と国内外での情報発信の支援
- ③洋菓子など食に関する産業の人材育成と国内外での情報発信の支援
- ④機械金属産業におけるプロダクトデザインへの支援

(2) 文化創生都市の推進によるまちづくりや賑わいの創出

①アーティストが集い、活躍するまちづくり

ー若手作家の支援

*神戸在住のイラストレーター山崎さん（ゴミのわけとんを描いている方）、宮城さん（HP「ひかりのにおい」）が大好きです。若い作家を応援していきたいです。神戸の作家が有名になってくれるとうれしいです！！

②芸術・文化を活かした賑わいの創出

ー芸術・文化のまちとしてのPR

*神戸の産業、靴・鉄工・貿易・観光などは震災で大きな被害を受け、靴や鉄工はなくなり、貿易は大阪にうつってしまった。これらに変わるものとして、ジャズや絵、アート、デザイン等、芸術面が他の都市に比べて盛んでオシャレである。これをもっと他府県にアピールし、芸術家もそれを見る観光客も神戸に集まるようにイベントを行う。ジャズフェスティバルやアートビレッジの継続・宣伝。

ー芸術専門の教育機関の創設

*音楽や美術を軸にした芸術で都市の成熟度を更に上げる。東京、愛知、金沢、京都に次ぐ国公立の神戸芸術高校、大学、大学院（音学学部、美術学部）を創設し、青少年から定年退職者等の熟年層も広く受け入れ、戦略としての芸術による経済振興まで考える。

ー芸術・文化イベントの誘致・開催

*アーティスト等呼び神戸で年何回が世界中から人が集まるイベントを開催する。
*現在行われている国際フルートコンテストに加えて、オーボエ・クラリネット・ホルンの国際コンテストを4年ごとに実施し、軌道にのれば、ハーブ・ファゴット・トランペット等の国際コンテストも実施されたい。“音楽都市としての神戸の知名度を向上させよう”
*多くの方に神戸に来て頂けるよう、神戸を舞台とした映画、ドラマの製作やイベントを誘致して下さい。

③地域の特性を活かしたまちのブランドの創造・発信

－国際文化都市の推進

*神戸らしい街づくりをお願いします。それは国際文化都市です。世界に誇れる“K O B E”にして下さい。

－ファッション発祥の地の復活

*ファッション発祥の地の復活・旧居留地にファッション産業を集積させる。
*ファッション都市・神戸のイメージを発展させ、デザイン都市・神戸のコンセプトを具現化していくために、世界に向けて通用する神戸発のブランドを育てていく必要がある。特に靴等の皮製品では神戸発のデザインで商品化し、ものづくり技術でブランド化すれば、世界ブランドを生み出せるはず。市としては、そのようなブランドを育成できるよう集積地の整備、財政的な支援と優秀なデザイナーを世界から集められるような仕組みを作るべきだと思う。

－「人間的良さ」の発揮

*長田区にも海や歴史もあります。人なつっこい人々が住んでいます。三宮（東京 l i k e）中心の都市発想より、兵庫・長田・須磨といった「人間的良さ」が残る地域を含め、プランを予定ください。

－手づくり技術の発信

*新たな価値の創造よりも伝統的価値の再発見と日常化・生活文化を高め、手づくり技術を高めれば K O B E の文化を世界へ発信できる。

「共通項目」に関する主な意見

<403件>

1 民・学・産と行政がともに取り組む都市づくりのしくみ——<347件>

(1) 市民とともに取り組む行政

①民・学・産と行政など多様な担い手で支えあう市民サービスへの転換

—市民サービスに関しては「受益者負担」が原則

*個人が地域社会で生きる生活への転換の要である「助け合い」ができる社会を作るべく、受益負担が原則で、市民納得のコスト制度を確立すべし。

*少子・高齢化については、まず市民が自立する気概と努力が必要。限られたパイを分かち合い、応分の負担をすることが必要。

*ゴミ有料化のように利用者負担を徹底して、ごね得市政はやらない。

*民主党のマニフェストは次の世代に大変な「ツケ」を残します。市民にも大変な借金を増します。受益者負担の原則を（医療や高速道など）。

*少子・高齢化の現在、私達高齢者の負担を子供や孫に負わせるわけにはいきません。高齢者も応分の負担はすべし。後期高齢者保険も止むなし。バスの老人パス負担も結構。

*受益者負担という考え方はある程度は必要だが、行政サービスを必要とする人の多くは負担を重荷に感じると考えられる。税収の配分をうまく活用し、市民の納得のいく負担増を考案すべき（消費税UPは賛成）。

(反対意見)

*市民税の徴収を、年金世帯については年金から引くことを、是非を問う事もなく一方的に実施しておいて「受益と負担の適正」と云われても納得しかねます。

*少子高齢化を唱えながら医療費負担を増大したり、ストップCO2と言いながら広大な宅地開発を進める…言っている事とやっている事に矛盾が多いと感じます。経済産業を発展だけが「豊かさ」と言える時代は過ぎ去ったと思います。ムダなものは縮少し、少しでも税金を減らして下さい。神戸は税金が高すぎます。

一行政と市民の役割分担と協働

- *地域の意見を反映して、安心して子育てのできる神戸、高齢者が生きがいを持てる神戸にしていきたいと考えます。市民と行政との役割の見直し、明確化が必要な時期に来ていると思います。
- *価値観を見直し、市民でできることは市民です。個人の欲望を越くままに行政へ持ち込まず、行政サービスの質・量・コストを意識して「協働」を働きかける。
- *高齢化社会になることは、随分以前から承知していること。何かを行政に求めることも必要だが、また市民に「何ができるのか」だと思ふ。行政は市民が進んで行動を起こす場合のストップ役にならないこと。つまり、法や決定権を振りかざすのではなく、広い善意の解釈の上にたって、市民の補助ができる立場であることが望ましい。

【各種料金】

一高齢者バス料金

(無料化)

- *高齢者が元気で行動できるように、低所得者だけでも市バス乗車を無料に戻すべき。現在、外出を控えている人が多い。
- *75才以上の方のバス代は無料にすることで外出も多くなり、元気で寝込むことも少なくなる(足が丈夫になる)。よって、医療費も少なく、健康で老後を過ごす事ができる。
- *70歳市民への市営交通機関無料パスを復活し、外出機会を増加させる必要がある。それによって、閉じこもりによる健康悪化を防ぎ、医療費の増加を防ぐことができる。何より、長年の納税義務を果たし、財政に貢献した人にそれぐらいの礼儀があつてしかるべきである。

(半額負担)

- *バス・地下鉄の無料パスはやめて子供料金にしては。無料では歩けるところを乗ることで歩かなくなるのでは。サービスに対して対価は払うべき(半額でも)
- *超高齢化を迎え、電車・バスの運賃は少なくとも半額負担まで行うべき。
- *80才以上を子供料金とし、90才以上を子供の半額、100才以上を無料に。

(無料パスの廃止)

- *超高齢者社会の昨今、とかくモラルに欠ける年寄りが目立ちます。今の世の中、生活も大変な時代かも知れませんが、老いたら誰かが助けてくれるという甘えは決して許されません。年寄りだからといって甘やかさないように思い切って敬老パスなどを廃止してみてもいい。

一有料道路の料金

(無料化)

- *北区は六甲山を境に切りはなされ、高い関所があるように思います。せめてトンネル代だけでも無料になればもっと便利になり、生活は一変すると思います。人口と購買力があるのに不便をしいられている。交通費が安くなると市街地はもっと活発になるでしょう。
- *西神と北神地域を同等のように併記しないで欲しい。新神戸トンネルと六甲北有料道路と六甲トンネルを無料にしてほしい!

(障害者割引)

- *私は重度障害者をしあわせ村へ移送しておりますが、車がNPO法人のものは障害者割引を受ける事が出来ない有料道路があります。どんな車に乗っていても有料道路代は障害者が負担しております。車を持たない家庭の障害者はどうすればよいのですか。

一高速道路の料金

- *高速道路を無料化すべきだ。もう減価償却できているはず。
- *高速道路の無料化反対。CO₂や事故の問題もあり、車を持っている人の特権になってはいけない。

ーゴミ袋

(無料化)

- *現実的に住みにくい街になりつつある様に感じる場合があります。例えばゴミ出しひとつとっても、すてるための物を入れる袋の購入。こんなにムダなことはないと思いますし、大型のものはお金を支払う…たしかに大変な作業だと思いますが、こういうことをふくめて市民は税金を支払っているのではないのでしょうか。
- *ゴミ袋をわざわざお金を出して買う袋に決められたのか、理由がわかりません。家にある買い物袋などで捨てる方がエコではないのでしょうか。

(指定袋の見直し)

- *様々の面での負担増加は仕方がないことだと思っています。しかし、ゴミの指定袋化等、本当に意味があるのか不思議に思うこともあります。流行だけでエコを追いかけるのではなく、地味でも意味ある市政を目指してほしいと思います。
- *今、神戸で行なわれているゴミ出し用袋のことですが、どの家もビニール袋で二重、三重に入れているので、エコではないと思います。専用袋はいりません。以前のように小さな袋で出した方がエコです。
- *指定ゴミ袋によるゴミ出しが実施されてから、不法投棄が増えました。長年ゴミ出しのルールがよく守られてきた地区だけに残念です。ゴミ分別には協力できますが、ゴミ袋は指定袋でなくても「透明度が高ければよい」としてもらいたいです。家計に負担をかけず。

(分別の見直し)

- *他都市に比べ遅れていたゴミの分別化ですが、まだまだ問題は多いと思います。絶えない不法投棄、回収されないまま残されていくこれらのゴミ問題。現在、北区のみで行われているプラの分別回収がお年寄りの多い垂水でルールに沿って行われるか、疑問です。
- *生ゴミ、缶ペットボトル、不燃ゴミの3袋に分別してゴミを出していますが、3袋共通に変更するか、せめて缶ペットボトル、燃えないゴミの2種類を同一にする。高齢化で判断しにくく、間違えて使用している方をみうけます。袋が間違っていれば回収されません。

ー医療費負担

- *医療費の自己負担割合が1割から3割に突然改訂された。担当者の話では2月に算定方法を変更したためと言う。とんでもない話！勝手に変更されてはたまったものでない！
- *高齢者や乳幼児に限らず病人は弱者です。若い人や中年の方も医療費負担は大変です。すべての人の医療費の窓口負担を1割にお願いしたいと思います。
- *高齢者対策として、逆転の発想で医療費等を軽減からゼロにすれば、老後安心から消費が増えるのではないかと（元はとれると思われる）。
- *一部の人を苦しめない配慮を忘れないように。後期高齢者医療制度により多大の被害を被っている中の下クラスがあるのが現実である。

【税金・社会保険】

－「納税・徴収」の適正・厳格化

- *みんながもっと「税金を納めよう」意識を盛り上げることが大切だと思います。いかにして税金をのがれようとの意識が高すぎます。
- *真面目に税金を納めている者にとっては、行政の責任で適正な課税と徴収に積極的な取り組みを要望します。
- *年金制度の未来永劫の死守を確約し、一方、保険料の徴収に全力を尽くす事（将来の本人のためにも極めて重要！）。
- *年金未納など国民の義務を軽視している方々へ厳しくしていただきたい。
- *税金を普通に納めている者からすれば、納めてない人への指導が甘く、私達の負担が増えすぎる。条例でも作って厳しくしないかぎり、税収はあがらない。

－「金額・負担割合」の見直し

- *年金生活者であるが、年寄りいじめをしないでほしい。神戸は地方税、健康保険、介護保険が高すぎる。
- *税金は金持ちや大企業の負担をふやし、低所得の人達の税金をへらす。
- *市民は決して大きなサービスを期待していない。従って、市民税や健康保険料は徴収率を上げる工夫をしても増率は決してしないように。
- *社会保険料・税負担の世帯別負担額が一人世帯は多人数世帯に比べ非常に大きい。世帯別の考えを改め、個人別にすべきなのは！
- *今年5月より神戸市国民健康保険に加入したが、任継政管健康保険に比較して40%高い。2万円／月が2.8万円／月となった。逆に所得は減少している。どこかおかしいと思う。制度改革が必要。安心して暮せない。くらしの安全・安心が第一。

【介護保険制度】

－「介護保険料」の減額・返金

- *家族でできることでも頻繁に介護保険を使用されているように思う。使用しない人の保険料の減額、その他の特典を望む。
- *好き放題に飲み食いし病気になった人に支払うこと（大事にして健康体でいる私にとっては）に異議あり。亡夫も介護を受けず保険料は払い損。いくらかの返金は必要です。

－「介護利用料」の増額等

- *老人福祉予算が今後ますます増えてくる。長生きするのを考えさせられる。高額年金受給者の介護料利用を1割から2～3割に上げるべきである。
- *介護保険料は適正に分配されているのかどうか？資産家の人がお掃除など女中代わりに使っているが、莫大な貯金がある人は各自でそれを使ってもらいたい。

－「介護福祉士」の環境改善

(介護報酬の増額)

- * 私は介護士ですが、仕事はきついにもかかわらず給料は安い。実際に働いている人には還元されていないのが現実です。
- * 高齢者施設で働く人の給料を神戸市が独自で底上げしていただきたいと思います。このままでは気持はあっても働き続けていくことが困難と考えられます。
- * 介護を受けていますが、デイサービスのスタッフがやめて行く人が多い。給料がすごく安いと聞きます。これから老人が多くなり利用する人が多くなって行きますが、これをささえて行く若い人が働きやすいようにしてあげてほしい。

(介護福祉士の増員)

- * これからの高齢化社会に向けて介護に関する充実を図ってほしい。ヘルパー、介護福祉士の増員をお願いします。
- * 超高齢化に向けて介護人が必要！介護職にもっと高い賃金を支払ったら、外国からの応援より国内で介護職の人々が増えると思います。

【生活保護】

－生活保護の「適正・厳格」な執行

- * 生活保護、母子家庭などの驚くほどの不生受給を厳しくチェックして下さい。まともに税金を払っている人の人権を大事に。
- * 生活保護を支給された人の実体をよく調べてください。50才位で働かず生活保護を受け遊んで暮している人もいます。そのような人達が多すぎるから真似るのです。
- * 生活保護受給者の適正をしっかりと見分けて、不正受給者を減らして下さい。五体満足で健康な受給者には何らかの奉仕活動をさせるべき。医療費もある程度負担させるべき。
- * 生活保護等を廃止し、公平な税負担をすれば健全、快適な生活が可能と思います。ゴネ得行政を打破すれば問題は一拳に解決します。「働かざる者は食うべからず！」
- * 高齢者は人にたよる事なく自分で健康や生活を考える事。すぐ生活保護に頼ろうとする事がおかしい。若い人に対しても生活保護を乱用しないでほしい。子供の教育を考え直し自分で生きる事を教えてほしい。
- * 働いても最低賃金が生活保護を下回る。働く人の収入が仕事に就けない人より少ない。これでは勤労意欲をそぐ事になる。個人の責任で自分の生活は守るべき。生活保護をきびしくするべきである。

－生活保護の支給を！

- * 障害者で無収入の親が、持家がある娘の家に同居している状況は生活保護の対象にならない。こんなことでは安定した生活は望めない！

【ボランティア報酬】

－「交通費と手当」の支給

- *自治会・婦人会・青年会・子ども会をボランティアで支えているが、せめて交通費や少額の手当を出して、地域の助け合いやまちづくりをサポートしていただく。
- *民生委員や児童委員の報酬をもう少し満足した金額にすることにより、委員の方々の生きがいにもつながると思う。行政は市民の力を借りているだけではないけない。有償ボランティアには大変すぎる仕事だと思います。

－将来、還元される「新しい仕組み」の検討

- *ボランティア活動の報酬を地域通貨もしくはポイント制にして、将来、受ける立場になった時に安心して地域からサービスを受けられる仕組みと行政の援助体制を整備する。
- *奉仕の時間を点数制で。元気なうちに奉仕して、自分が人の手を借りる時にその点数を使うというシステムを提案します。
- *介護保険でまかないきれない時代がきます。地域でおたがいが持っている少しの時間を融通しあい助け合っていかなばなりません。その報酬として神戸市共通の地域通貨を作り、お互いが気がねなくその通貨を使用できるしくみを作っていければと思います。

②市民ニーズの把握と行政の透明化の推進

－「住民の意見・要望」を反映した行政

- *住民（市民）の意見を聞く要望に耳を。行政中心の市政でなく、市民の要望を取り入れていただきたい。
- *住み良いまちづくりのため、いろいろな人の意見を聞き、「神戸に住みたい、住んでよかった」と言われるよう、みんなで考えてはと思います。
- *神戸市は協働と参画で地域力の強化を進めているが、行政のおしきせはいやだ。地域が何を望んでいるか何がしたいかをよく話をきいたうえで事業展開をしてほしい。ただ、単に役人としての成果ほしさに地元に入ってはだめだと思う。地域に根付いてほしい。
- *はっきり言って神戸市のやり方は市民の声を聞いてくれないと感じてます。余り期待してません。まじめに生きて、しっかり納税している市民も大事にしてくれないとこれからも不信を持つのみです。

一市民と行政の意見交換の場

- * 普段からいろいろな活動団体と機会を捉えて市職員が意見交換する必要がある。単に陳情を受けるのではなく討論して方向性を見つけ、神戸として行政が真剣に重要度を見極め順次実行していくことが肝要。意見はいくらでもあります。
- * 市民と行政の対面意見交換の場を設けていただきたいと思います。やっではないけない、欲しくない施策をやっている（空港関連で失いつつあるものの大きさ、市民を無視した強行）。
- * 行政と市民の接触が少ない。地域、環境、職業別の会合など推進すべき。

一広報方法の的確化

- * 何かあると「詳しい内容はホームページで」となるが、いかにネット時代とはいえ、高齢化社会でどれだけの人がインターネットを持っているのか、使いこなせるのか。市民・地域・行政とのつながりの場を日頃から持てるように企画・推進をお願いします。
- * ありのままに、人間として人間らしく、当り前のことを当り前に。広報の在り方（知らせる）など、すべての人が参画協働できるような取組をわかりやすく発信することを願います（継続的に続ける）。
- * 広報紙の配布と同時に、月2回程度でも広報車での呼びかけを希望。

一「情報公開・外部評価」による経費の削減

- * 情報公開で経費をはぶき、予算を有効に使用するように洗い出してほしい！
- * 行政にはむだ使いはないのか、削減できるものはないのか外部からのきびしい指導があればと思います。すべてをガラス張りにしてほしいと思います。

一小さなクレーム（意見等）の窓口づくり

- * 街中のゴミのポイ捨て状態など、こういう小さな点のクレーム（意見等）の窓口づくりにも力をいれて入れていただきたいものです。

③民・学・産と行政の協働と参画による総合計画・部門別計画の策定

一市民参加の場（協議会）の設置

- * 指針策定には市民参加の場（協議会）の設置が有効かつ必要と考えます。

一第三者会議の設置

- * 市会、市当局に全く籍を置いたことのないメンバーによる市政刷新会議を新設し、往年の土光臨調のごとき強大な権限を与えては如何。委員は経済団体、大企業幹部や市関連団体の常連も選ばないことが肝要。

④市民にわかりやすい行政のPDCAサイクルの確立

－「市民一人当たりの行政コストの収支情報」をわかりやすく明示

*誇りをもった市民をつくるためにも、まず、市民一人当たりの行政コストの収支情報を各部門別に“家計簿”のようにわかりやすく明示すれば、何が不要で順位別に何が求められるか、神戸の未来ロードマップが自ずと画けるだろう。

－「進捗及び評価」に関するわかりやすい説明

*具体策→区民に公表、委員会→実行委員の設定→公表。進捗状況の説明：区民全員の参画をPRする→チェック→アクション

*進捗及び評価に付き市民にわかりやすく説明していく手法を考え、質の面の追求を進めて、より良い社会を築くよう期待しています。将来像を充分見極めた上での対処を行政と共に考えていきたいです。

*めざす指針ごとにその目的・目標・期限と達成水準、その具体的な方策と課題（いつまで・誰が・何を・どうする）を明確にして取り組み、その進捗が定期的に「見える」ようにすることが必要です。

－「無料パス廃止・ゴミ袋有料化」による効果の検証

*高齢者の活力が失われている一因に無料パスの廃止が考えられる。財政悪化が理由と言われているが、無料パス廃止による結果・効果を明確に公表してほしい。

*ゴミ袋有料化後とそれ以前との事業収支を比較して広報紙で公表して下さい。費用対効果の検証。

－各種事業・サービスの検証と見直し等

*各地域福祉センターの活動に大変バラツキがあり、本来の機能がしていないと思う。行政も活動内容をチェックして予算の配分も考え直し、活発な活動をされている所への助成金の配分も考えるべきである。

*市は「ふれあいのまちづくり協議会」の実態を把握し、真に地域のふれあいに機能するものにしてもらいたい。地区自治会の役員は1年交替で、深く考えずに協議会の運営を見逃している現実です。今後検証の要あり。

*行政サービスの中には、内容をあまり検討されることもなく、慣習として続けられてきたものもあるのではないのでしょうか？それらをひとつひとつチェックし、今の時代と状況下のもと本当に必要なものかどうか、検証することも必要なのではと思います。

*区民センターなど各文化施設の定例講座について、毎回募集しても定員が集まらないのに開講しているのは税の無駄使いで、講師に全額支払う必要ない。何のための文化活動かわからない。早く改善してほしい。

(2) 効果的で効率的な経営

①柔軟で機動的な行政システムの構築

【「市有施設」を活用した施設整備と市民サービスの提供】

ー市営住宅建替時の「福祉施設」の併設

*市営住宅の建替の時、土地を有効利用し、老人ホームも一緒に建てる等、うまく利用しては。市街地なので家族も老人も孤独感がない。

ー学校の図書館の開放による「市民図書館」の開設

*すべての公立小・中学校の図書室を開放し、「市民図書館」にし、知の部分充実させる。寄贈も受けつける。あるいはネット販売も公的にやればよい。
*図書館等が遠方だったり、駐車場の関係で行きにくかったりするので、学校の図書館を一般に開放したりすれば、人が集まると思う。特に北区は広範囲なので活用しにくい。

ー空き小学校を活用した「福祉施設」の整備

*できるかぎり在宅を希望。そのため、小規模多機能型居宅介護を多く設立してほしい。閉鎖予定の小学校を居宅介護センター、リハビリ、スポーツジム等に転用してほしい。
*空いた小学校をデイサービスに改装し、給食設備を利用する。一方、学習センターサークルも同じ学校で行い、デイサービスの人と交流し、共に元気になる。
*少子化で廃校になっている学校がありますが、その有効利用として公立の有料老人ホームにするのも一つの方法ではないですか。建物は地震に強いですし、テニスコートやプールもあるし、広い運動場は駐車場等に使い、作る費用を安くできるのではないですか。
*保育所の不足解消のために、学校の空教室を利用する。また、子育ての経験のあるお年寄りに保育士のできない部分を手助けしてもらおう。

ー既存の公共施設を活用した「コミュニティエリア」の形成

*個人の孤立を防ぐためには、年齢性別を問わず、誰でもが気軽に集まることのできるコミュニティ施設が必要だと思います。既存の公共施設を使い、市民が場を創り上げていくボトムアップ的な何でも語り合え、くつろげるお茶会的なコミュニティエリアが必要。
*西区にも「ユースステーション長田」のように放課後スペースをつくり、先生のOBなどに勉強を覚えてもらったり、高齢者に昔の遊びを覚えてもらったり、さまざまな年代の人がコミュニケーションをとれる居場所をつくってほしい。
*高倉台の公設市場が閉鎖され建物が使われなくなったままです。それを活用して、例えば、1. 大衆浴場（できれば温泉）2. 1人暮らしの人や共働きの子どもが病気になった時にショートステイのような形で利用できる施設（団地内の医師との連携もとりながら）3. 多目的に利用できるスペースなどを整備しては。

【必要な施設の整備等】

－「福祉施設」の整備

- *地域の人々が気軽に集える集会所が烏帽子町にはありません。地震後は特に人とのつながりが大切だと感じており、県営住宅の跡地に集会所ができないでしょうか？
- *長田神社近隣に福祉施設を作ってほしい。長田小学校までは坂があるので大変です。今、近隣に空地があります。
- *超高齢化が進み、一人暮らしの人がたくさん増えてきます。会社や学校の寮的な建物を建設し、一人暮らし高齢者に入居してもらい、公的機関で管理するようにすれば孤立した人を少なくし、災害の対応もしやすくなると思う。
- *神戸は知的障害・身体障害者向けの施設が（特に入居型）とても少ない。区役所に相談に行っても門前払い、冷酷な都市である。もっとまじめに福祉問題に取り組んでもらいたい。
- *老人ホームなど適当な金額で安心して入居できるような施設をたくさん作ってほしい。高価な所は入れないので、不安いっぱいです。
- *私自身、現在母の所へ世話をしに行っていますが、もし私が寝込んだ時に母をショートステイで見て下さる所があれば安心です。

－「公立高校」の整備

- *公立の高校をもっと増設して下さい。

－「図書館」の整備

- *住民サービスに力を入れていただき、東灘に文化を発信する図書館を作ってほしいです。子供たちのために。
- *国道43号界隈には図書館がないため、深江浜等の空地を利用して図書館を建設するか、芦屋市と交渉して本を貸していただけるようにしてください！

【組織の再編】

－バス・地下鉄、ゴミ収集等の民営化

- *交通局・環境局・病院は民営化すべき。
- *高速神戸線の私鉄会社との経営統合。
- *民間に委託できることは民間にまかせ、赤字体質の第3セクター等思いきった対策をとるべき。
(民間委託を望まない)
- *保育所などの公共事業を民間に委託しないこと。

－「外郭団体」の統廃合・見直し

- *外郭団体、施設を統廃合して固定経費の支出を圧縮する。
- *大阪府の橋下知事が取り組んでいる行政改革を手本にして、不用な外郭団体の整理と役人の天下りをやめる。赤字団体は補助金をカットして福祉や医療に予算を回す。
- *神戸空港の運営を抜本的に見直し、赤字が出ないようにする。
- *税収は伸びないのに、適当な理由で財団等を設立し、役員に市の高齢職員を送り込む。このようなやり方は止めて、理事等の職員は公募する必要があります。
- *すべての公社等外郭団体を全面見直すべきである。国も県も市も同じ構図で、不必要団体に税を使って天下り先とし、不合理団体が多い。見直しの視点。(1) 眞に市民のために必要か。(2) 公的資金を支出していないか。(3) 収支は均衡しているか。たとえば、「農業公園のワイン作り」「フルーツフラワーパーク」億単位の赤字を出して、市がワインを作る必要があるのか。市民は望んでいないし、市民のためにもなっていない。

【財政健全化】

－「箱物行政」等からの脱却

- *箱物、例えばフルーツフラワーパーク等は不要と思う。有料老人ホームを作ったほうがいい。
- *建物づくりにお金をつぎこんで使わない事例は全国的にあります。そういう事のないよう大切にお金を使っていたきたい。
- *ムダな公共事業の見直しをする事。それでういた税金で今日まで市を支えてきた老人、市民のために福祉、医療を充実させることができますと思います。
- *まちづくりと言って土木工事、「知の集積」と言って土木やハコ物作り、もう、土木建設業者向け計画はやめるべき。人材を集めると言って学校等のハコ物作りやめよう。
- *新たに何かをつくるのではなく、今ある物をしっかりつかって下さい。意味のない道路工事はいりません。神戸空港も作ったら終りじゃなく、どうにかして下さい。

－無駄な「支出」の抑制

- *何をすることも、お金がかかってきます。ここぞという時に使える様に、とにかく無駄遣いをしないで下さい。
- *行政・市政経費の無駄が多く見られる。支出減少が先で負担増は次である。
- *今こそ無理な出費を抑え、健全な黒字財政を構築する努力をして下さい。
- *税込の伸びが期待できない等厳しい状況云々とあるが、まだまだ税の無駄使いが多すぎる。行政が足元から見直すべきで、その上で市民に負担を求めることが大切。
- *神戸市の‘効率的な行政経営’に疑問があります。本当に必要なところにお金を使っているとは思えません。特に、神戸空港は必要なかったと思います。‘世界へ発信するまちづくり’の前に私達の基本的な生活を守って下さい。
- *今までの神戸は無駄使いが多く諸外国諸都市に体面を作りすぎ。阪神大震災以降の教訓を無視、神戸空港、神戸まつり、海上花火、ホテルなど企業主体事業関連が多く、神戸全区域の恩恵のないイベント、観光事業は整理すべきです。

－「予算の使い切り」の見直し

- *かけ込み予算消化等を廃止し、国に枠にとらわれない財源使用を、声を大にして意見していただきたいです。
- *神戸市では「予算の使い切り」の見直しについての取組み行われているのでしょうか？創意工夫により少しでも節約（サービス等を縮小するのではなく）して使い切りではなく、前年度の残った分は翌年度に繰り越す。神戸市から全国へ配信していただきたい。

－「新規事業」の凍結、「各種行事」の見直し

*インフラストラクチャーについては、既存分の維持管理にのみ絞り、最低10年は新規事業を一切行わず、市の抱える負債の返済を最優先とすべき。場合によっては各種行事（ルミナリエ等）の廃止も考慮すべきではないか。

【手続き等】

－各種手続きの見直し

*医療では、慢性の病気の人への配慮をしてほしい（医療費の払戻し制度の見直し）。病気の人が役所へ手続きに行くのは大変。
*後期高齢者医療保険料決定通知書や納入通知書等は、同一家族の場合、1通でいいのではと思います。経費の無駄では？

－ワンストップ・サービス

*役所に「なんでも110番」を作って、そこから担当者に連絡するようなシステムがあれば良い。

②市民ニーズや新たな都市課題に対応した行政組織の構築

【人員配置】

－適切な「人員配置」

*行政の人員配置が適材適所かどうか疑問（仕事のないアルバイトなど）。
*過剰な人材を適切に配置し、効率的な行政を行ってほしい。
*仕事をしていない職員が現場に多いので、福祉関係の仕事にシフトする。
*市役所、区役所、公営企業の人員適正配置の徹底。

【職員数】

－「職員数」の削減

*やたらとボランティアやアルバイトを使わないで自分達で。
*午後4時頃区役所へ行くと、あるフロアでは職員の大半は手持ちぶさたで、ただぼんやりと終業時刻の来るのを待っているようです。現状の効率化を即実施してほしい。
*人口減の時代に入り職員も毎年減らすべし。働かざる者は解職すべし。

－「議員数」の削減

*どんな仕事をしているのか、私たちの目に見えない市会議員の削減。
*職員数の削減は進んでいるが、議員数を削減して更なる努力を。
*市会議員の数を定数半分にし、市会議員の職はボランティアで行うべき。

【人件費】

－「人件費」の削減

- *区役所で、午前中、お茶とお菓子でおしゃべりの風景を何度か見ました。暇で楽な神戸市職員の給料を少なくして、税金を上げる前にむだ使いのお金を無くしましょう。
- *市長、職員の給料を民間並に減給すること。
- *市営バスの賃金体系が端的に示している給与体系では市税を払っている我々の憤りはおさまらない。
- *むだな人材費や職員の給料を下げるなど、他市はやっているのに、神戸はおくれている。

－「能力相応」の給与支給

- *優秀な人材には相応の給料が必要。給料が安くては優秀な人材は来ない。
- *効率的な行政経営には、優秀な職員や管理職に対して相応の給与をもって評価し、モチベーションを高める必要がある。そうすることで周囲の職員へも影響を波及させ、もって行政サービスの向上につながる。「削減」ばかり考えないでほしい。

③総合的人材マネジメントの推進

－情報・知識・新しい発想をもった「知恵」の集積

- *官民一体の取り組みは、特に創造力が大事で、情報・知識・新しい発想をもって知恵の集積が求められます。これらの実践については、あくまで、行政側が主導力を持ち国政の力、他府県との情報共有が不可欠です。

－「士気」の高揚等

- *公務員の能力アップ、士気をもっと高めてほしい。定時が来るまで机にすわって本を読んだり、周りの人と談笑したり。ムダになっている力を正し、生かしてほしいです。
- *精力的に働いてほしい。それがなければ、市民の協力は得られないです。区役所の公務員を見て精力的に働いているとは思えない。

－職員の意識改革

- *市職員は足元を見つめ直し、健全たる態度で仕事を全うしてほしい。まず、自分達市職員が県民たちに手本を見せるべきです。
- *医療費の還付金等の事務処理等を考えると、もっと職員の意識改革や人間教育をすることが必要。
- *市の組織は一部で合理化され、一方で厳しい財源の中で拡充しながらも、その効果が生まれていない。トップから末端までの危機管理意識の欠如とお互いに助け合える組織の崩壊が今後も更なる犠牲者を生むのではと危惧される。一人一人の意識づくりを早急に構築すべし。

－説明能力等の向上

- *行政の人が市民に理解できるように説明する能力を身につけてほしいです。
- *市職員の対応、口調の悪さが他の市よりも悪いです。丁寧・親切な人が少ないようにも思います。

－「指導力」のある人材の育成

- *行政の指導力（リーダーシップ）を有する人材が必要。
- *行政の長たる課長、部長は部下の作業を十分に掌握して、作業内容の重複を避けることに努力すべし。

－窓口での対応

（わかりやすい対応）

- *市、区役所へ行くとお年寄りにわかりにくい説明の仕方があります。お役所仕事だなと思う事が多々あります。民間のようにもっと物腰などやわらかく対応してほしいです。

（きちんとした対応）

- *市の職員数が多い割に、サービスが悪い（市の職員の自覚たりない）。
- *国保加入による保険料の高負担に驚き、「神戸市からの脱出を考えねば」と言ったところ、窓口の担当者から「それも選択肢の1つです」と言われた。神戸市の職員は市民に対する態度がゼロである。
- *先日、質問事項を持って市役所担当部署へ行ったが、対応は「何の用ですか」と立話して回答されようとしたので、「どこか席はないのですか」で座ることができた。今の若い人はコンピューターで仕事をしているので常識が欠けている。もっと相手の目線に合わせて対応のできる人材を育成すべきである。

④民間・大学等との連携

－「民間」の人材活用

- *民間人の登用等市組織の活性化、民間経営システムの導入。
- *役にたたない職員をやめさせ、役にたつ人材を民間より入れる。
- *立派な人材を集めるには民間の大企業、中小の企業から均一にスカウトすること。市職員で成績の悪い者はすぐ地方に飛ばすこと。
- *効率的な行政経営のため、民間出身の人が市長になってほしい。

－「高齢者」の人材活用

- *行政の運営に高齢者を積極的に採用し、コストを減らすと同事に受け皿拡充の一石二鳥というのはどうでしょう。

①市民・事業者等を基点とした組織・業務プロセスの構築

－「協働」による維持管理

* 東灘区は公園が新設されていますが、立派な公園を永く利用するため、維持管理を町内任せではなく、各人の奉仕活動はもちろんですが、行政の積極的な管理を切望。

－「既得権」の排除

* “ふれあいのまちづくり協議会”の助成金は本当に給付されている額が必要なのでしょうか。美味しい既得権？収入にかかわらず、恩恵を与えている状況を精査されるべき。高齢者にも財力・能力・体力に応じて“自立を”求めるべきではないでしょうか？

* 地域の施設、福祉会館など特定の方だけが利用している。もっと利用できるようにしてほしい。何か個人経営の建物に思える。開放してもらいたい。

* 地域のリーダーがあまりにも独裁者になりすぎ、民意が行政に伝わってないのでは。

－良きリーダーの育成

* 現在の地域のまちづくりは、幹部の自分勝手な考えや行政へのゆがんだつながりが地域の主体をゆがめ、活力あふれる地域社会ができていない。地域の幹部はもっと勉強し人々をひきつける役割を果してもらいたい。本当に支えあった豊かな地域にってもらいたい。

* 阪神大震災を機にボランティアが日本に根づく元年になったと言われていています。これをよい意味の記念にしてボランティア日本一をめざす都市したい。良いリーダーさえあれば、老いも若きも参加したいと思っている人は沢山いると思います。「支え合う神戸」を合い言葉に活力と安心のまちづくりをめざしてください。

－役員の見直し

* 地域のボランティアの任期について。同じ人が別の役員会長も複数兼ねて10年、また20年以上もやっている団体も多くあるが、今後、団塊世代など多くの人が参加しやすいように“任期”の見直しを！

－自治会の活性化

* 行政に反映する地域活動として自治会活動が重要となってきます。しかし、自治会には機能しているもの、機能せず地域活動を阻害しているものがあります。自治会組織として最低限必要な要件が整っているか、行政として管理、指導する事も大切です。

* 参加・参画・活動したい「自治会」をつくっていただきたい。行政はもっと自治会への支援をしていただきたい。

②地域の特性や実情に応じた地域支援制度づくり

－まずは「地域」で解決

* 地域の問題は地域で解決し、できない時は行政と相談しながら問題点を解決するようにすることが望ましいと思います。

－地域の特徴をいかしたまちづくり

* これからは“地域の時代”。地域が個性豊かな魅力を持てるようにするための支援策を拡充することが必要だと思います。

* 「人」をキーワードにして区の特徴をとらえ、小さなことの積み重ねを行政、市民が一体になれる風土づくりが必要。何事にも誠実に取り組む姿勢で積極的に協働参画できることを推進し、問題点を探求し解決することで、活気あるまちづくりができると思います。

－サービスの「恩恵」の公平化

* 長尾、大沢地区は市街地や西神に比べて恩典は非常に薄く感じる。文化的なサービスを受けるにも交通費を要し、本当に神戸市民なのか？

* 北区の小集落で、文化施設はおろか店もなく医者もいず、小学校も存続が危ぶまれる地域で、交通は神戸電鉄のみ。市ではこんな過疎の集落をどのように考えて下さるのか。一人暮らしで急な坂道をゴミ出し、買物にも不自由している弱者がいることを忘れないで欲しい。

－予算地域優先配分の実施

* 例えば名古屋市のように「地域委員会」と連動して「予算地域優先配分」のような具体的な姿、目標を記述しては。

③神戸版「地域担当制」の制度構築など区のまちづくり支援体制の充実

－協働のまちづくり

* 高齢者の中に何か社会に役立ちたいと思っている人も多いと思う。行政から自治会等を通じて、もっと地域の人にしてほしい事（例、街路の雑草抜き、水やり等）など申し入れてはどうか、そのかわり行政も地域の申し出に耳を傾け、よりよい社会を築いてほしい。

④地域を支える行政組織である区役所の機能について、本庁との役割分担も含め弾力的に見直し

－「タテ割り行政」等の見直し

* 市民との窓口・区役所が今でもタテ割り行政では、…もう今の私にはアキラメの方が多くなっています。

* 市と区の役割分担と人材の配置を含めた構想が要るのでは？時間軸も重要。

⑤市民の利便性、地域特性や歴史、行政の効率性など総合的観点から行政区のあり方を検討

－「行政区」の統廃合等

*20～30年先の将来像を考えた行政改革（中央・兵庫・須磨区の統廃合と北区役所を北神へ移転）。

(1) 広域行政の推進

－「道州制」への移行

* 早急に道州制へ移行させ、各県・各市が共有・共存し得るテーマを基軸に共存共栄の旗印を立て、実現に向けてフルにマンパワーを活用する。広域行政力の実現が肝要。

(反対意見)

* 心配されることは、「道州制」という美名のもとに、神戸の持つ、また育てていこうとしている数々の貴重なものが大阪に吸収されてしまうのではないかということです。神戸市を中心とした兵庫県だけでまだまだやるべきこと、できることが沢山あります。町村合併により不便となった村がよく見られます。

－「関西」を視점에

* 神戸、神戸ではなく関西を考える必要あり。それが、結果として市民の利益になる。足の引っ張り合いは関西のためにならず。

* 都市間競争ではなく「都市間協調」という意識を持つべき。

－「市域」の拡大

* 現在のおよそ550km²を800～1000 km²に拡大すること、これこそが目下の焦眉の問題だ。これなくしては市の更なる発展はない。そのために、まず三木市との合併交渉を1日も早く始めて全力を傾注してほしい。神戸市を愛し、神戸市に誇りをもつ神戸市民の祈り（市民税は高いとは思わない）である。

(2) 大都市制度の確立

－「直接管理」の実施

* 地方分権が話題になっていますが、災害に強いまちづくりには欠かせない問題です。市内の河川などは国や県が管理している関係で市ではどうにもならない（都賀川の事故など市に直接）のを、市が直接管理（財源共）に変えるよう、各県・市が協力して働きかけては？

－行政分野の一元化

* 基本的な考え方は神戸だけの問題ではなく、全世界共通の課題です。その意味で国・県・市の行政分野の一元化と守備範囲を明確にすべきだと思います。

(1) 大学などとの連携による人財を育てるしくみ

①大学等の教育機能の積極的活用

②大学等の知的資源・人的資源等の積極的活用

—大学の「知・人材」の積極的活用と場の提供

*市内にある大学の知、特に人材の積極的な活用、場の提供に努めてもらいたい。また、市の部局が音頭を取って、さまざまな分野のクラスターづくりを願う。イ. 海事、ロ. バイオ（酵素、高分子）、ハ. ロボット（超精密な）、ニ. 超大型建造物

③産業界などとの連携による人財育成

④地域を担う人財育成

—まずは「自ら」の手で

*まずは、家の回りの市道・側溝の除草や掃除ぐらいは自分の手ですることがすべての始まり（意識改革の動機づけ）。市職員・地域のリーダー・小・中学校などから率先して実践し、神戸名物に育て上げたいもの。

—一人一人を育む「人間教育」

*今、優先課題は一人一人の人間を育む人間教育だと思っています。未来の神戸を眺め、現在の神戸の実態を検証して、今、私（個人）は何をすべきか、平等の立場に立って推進してゆける人材育成に着手すべきだと考えています。

(2) 多様な人財が集い、交流・融合するまちの実現

①人財が集まるまち

－人材の流出の防止

*東京の政治・経済面での一極集中が聞かれて久しい。神戸に本社機能を置いていた企業の東京への移転が見られる。これにより神戸を担う優秀な人材が神戸を離れたり、経済活動の低下につながる。現状を打破する為にはまず人材流失を防いで確保し、同時進行で人材の育成を行い、神戸の発展に寄与できる環境整備が急務と考える。

－地方や外国の有能な人材を引き寄せるまちづくり

(国内外から人材を集める)

*神戸は港を中心に発展してきたので、産業が増えて震災前のような活気ある都市になるように、国の内外から人材を集め、新たな価値や文化をつくり出してほしい。

*人口が東京に集中している現状の背景の一つに、官公庁・企業のみならず有力な大学が集中していることがあげられ、地方出身の人材が東京に集中してしまいます。神戸にも東京の規模には及ばないまでも官公庁・企業があり大学があります。国際都市としての歴史もあります。他の地方や外国の有能な人材を引き寄せるまちづくりが肝要です。

(少々不安あり)

*国際的な技術向上はとてもいい事ではあるけれど、外国の方々が来ることによって国内の方々に仕事が回ってこない場合がありますか？それに治安的にも少々不安はあります。外国人犯罪も多々ありますので。

*国の外からも人材を集める事はマイナス面もあると思います。

－「将来の神戸」を担う人材の集積と育成

*将来の神戸を担う人材を集め育てることに、力を入れて取り組んでほしい。

*税収の伸びが期待できない状況にあります。将来の神戸を担う人材を集め育てることに注意して下さい。

*高い技術をもった人達が集まれば、これからを担う子供たちのレベルも自然と高くなると思います。

②人財が交流・融合するまち

－日本・世界の見本としての国際都市・神戸

*国際都市・神戸として、日本そして世界の都市の手本となるようなまちづくりを期待する。自由で生き活きとした都市、移民を受け入れやすい神戸なので、外国人と共存、繁栄できるようにすれば、多くの課題が解決できると考える。